

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1 子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
事業名	(1) 家庭教育・地域教育の充実
重点事業	1 家庭教育支援の充実
新規事業	○
担当課	生涯学習推進課
目的	保護者が家庭における子どもの基本的生活習慣の形成と家庭学習の意義と役割を学習する場を設けるほか、意識啓発事業を実施します。
内容	○ 「家庭の日」推進事業等の実施 ○ 家庭教育に関するリーフレット等の配布 ○ 家庭教育学級等の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○ 「家庭の日」推進事業等の実施
	生涯学習推進課
	取組
	●親子鑑賞会「Witty LookのLife's a CIRCUS!!!!～みんなで笑おう！コメディサーカス！！～」を二部制(午前、午後)で開催し、延べ1,052人の参加があった。 ●「絵画・ポスター・作文」募集事業を実施し、延べ300点の応募作品から絵画12点、ポスター1点、作文17点の入賞者に対して表彰を行った。
	課題
	施策を進めるためには、多くの子どもの参加が必要であるため、事業内容等の周知方法及び参加申込み方法を工夫する必要がある。
	○ 家庭教育に関するリーフレット等の配布
	生涯学習推進課
	取組
	●東京都等から送付されるリーフレット等について、窓口及びパンフレットラックに設置し配布した。
	課題
	継続した周知活動が必要である。
	○ 家庭教育学級等の実施
	生涯学習推進課
	取組
	●「家庭教育講座」では、子どもと保護者を対象に3講座開催し、延べ45人の参加があった。 ●「家庭教育学級」では、保護者と子育て支援関係者を対象に2講座開催し、延べ23人の参加があった。
	課題
	子育てに不安や悩みを持つ多くの市民が参加できるように、引き続き講座内容及び周知の方法を検討する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1	子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明		近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
	(1)	家庭教育・地域教育の充実
事業名	2	あいさつ運動の推進
重点事業		○
新規事業		○
担当課		生涯学習推進課
目的		地域における子どもの健全育成を推進するため、人と人、子どもと地域、子どもと大人がつながりを持つ第一歩としての「あいさつ」について、あいさつ標語カルタ大会を実施し、子どもたちのあいさつする心を育みます。また、あいさつ運動を推進することで、市民全体に向けて「あいさつ」を啓発します。
内容		○ あいさつ標語カルタ大会の実施 ○ あいさつ運動の推進
令和7年度における取組状況及び課題	○	あいさつ標語カルタ大会の実施
		生涯学習推進課
	取組	●あいさつ標語カルタ大会を実施し、延べ47チーム、119人の参加があった。対象者は小学校の全学年に加え、中学生以上の参加も可能とした。
	課題	参加者が前年より増えたが、より多くの参加者を募るため、更なる事業周知が必要である。
	○	あいさつ運動の推進
		生涯学習推進課
	取組	●7月と11月にあいさつ標語の懸垂幕を本庁舎及び五日市出張所に掲出し、市民への啓発活動を行った。
	課題	これまでの啓発活動に加え、その他の効果的な手法について検討が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1	子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。	
	(1)	家庭教育・地域教育の充実
事業名	3	子どもの読書活動の推進
重点事業	○	
新規事業		
担当課	図書館	
目的	子どもが身近な施設で本に親しみ、成長する上で望ましい読書環境を得られるよう、平成30年に策定した「第三次あきる野市子ども読書活動推進計画(※)」に基づき、子どもの読書活動の推進を図ります。また、未読書率の高い中高生を対象とした取組を進めます。 ※令和5年度以降…「第4次あきる野市子ども読書活動推進計画(令和5年度～令和9年度)」	
内容	○	第三次あきる野市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○	第三次あきる野市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施
		図書館
	取組	●継続的におはなし会、原画展、人形劇等の事業を実施し、乳幼児からの読書環境の整備に取り組んだ。 ●図書館福袋や一日子ども図書館長、ぬいぐるみお泊まり会など読書のきっかけづくりを提供する取組を継続して実施した。
	課題	ハンディキャップや日本語を母国語としないなど読書活動が困難な子どもに対しての更なる資料の充実を図る必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1	子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。	
	(1)	家庭教育・地域教育の充実
事業名	4	教育フォーラムの開催
重点事業		
新規事業		
担当課		指導室・生涯学習推進課
目的	学校における体験活動の推進、家庭教育の在り方等の課題について、様々な立場の市民が集い、話し合う場として開催します。	
内容	○ 市立小中学校PTA連合会と連携した教育フォーラムの開催	
令和7年度における取組状況及び課題	○	市立小中学校PTA連合会と連携した教育フォーラムの開催
		指導室
	取組	●令和7年12月20日、こんのひとみ氏を講師として招聘し、「絵本「くまのこうちようせんせい」でつながる家族の絆～小さな声に寄り添う大切さ～」をテーマに講演会を開催し、84人の保護者・市民等が参加した。
	課題	周知方法等の工夫により、参加人数を増やすとともに、規模に応じた会場の確保が必要である。
	○	市立小中学校PTA連合会と連携した教育フォーラムの開催
		生涯学習推進課
	取組	●市立小中学校PTA連合会への活動支援として補助金を交付した。
	課題	団体の主体的な活動を支援するため、引き続き補助金の交付を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1 子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
事業名	(2) 子育てに関する学習機会の充実
重点事業	5 子育て中の市民が参加しやすい環境づくり
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	子育て中の市民が講座等に参加できるよう、託児付き講座等を充実させるほか、公民館内保育室について検討します。
内容	○ 託児付き講座の実施 ○ 保育者確保のための登録制度の充実 ○ 公民館保育室の利用相談・利用調整の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○ 託児付き講座の実施
	生涯学習推進課
	取組 ●家庭教育事業(家庭教育学級・家庭教育講座)及び「女と男のライフフォーラムinあきる野」において、託児付きの講座・講演会として実施した。
	課題 子育て中の保護者が安心して講座や講演会に参加できるように、継続的に実施する必要がある。
	○ 保育者確保のための登録制度の充実
	生涯学習推進課
	取組 ●既存リストから新たな保育者の確保に努めた。
	課題 引き続き、新たな保育者の確保に努める必要がある。
	○ 公民館保育室の利用相談・利用調整の実施
	生涯学習推進課
	取組 ●子育て中の保護者からサークル活動に際した保育室の利用相談を受けるとともに、利用の調整を行った。
	課題 継続的に利用相談や調整を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1 子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
	(3) 学校、家庭、地域と連携した子どもの学習環境の整備と活動の推進
事業名	6 図書館による学校支援事業の充実
重点事業	
新規事業	
担当課	図書館
目的	教科学習や学級での読書に必要な資料の団体貸出とともに、学校図書館関係者連絡会の開催を通して、図書館と学校図書館及び各学校図書館間の協力・連携の強化を図るなど、学校支援の充実を図ります。
内容	☐ 団体貸出の実施 ☐ 学校図書館連絡会の開催
令和7年度における取組状況及び課題	☐ 団体貸出の実施
	図書館
	取組 ●学級貸出25件1,197冊、総合学習支援19テーマ434冊の貸出しを実施した。
	課題 継続した周知活動が必要である。
	☐ 学校図書館連絡会の開催
	図書館
	取組 ●2回開催し、情報交換と学校図書館の訪問を行った。
	課題 情報の共有化を行い、学校支援の充実を図る。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1 子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
事業名	(3) 学校、家庭、地域と連携した子どもの学習環境の整備と活動の推進
重点事業	7 総合的な学習の時間への資料・情報提供
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことで、課題を解決し、生き方を考えていくための資質・能力を育成する「総合的な学習の時間」に対して、地域の人材や歴史、文化、生活などの資料や地域資源を積極的に提供します。
内容	○ 市民解説員の派遣 ○ サークル等の人材情報の提供 ○ 生涯学習人材バンクを活用した人材の紹介
令和7年度における取組状況及び課題	○ 市民解説員の派遣
	生涯学習推進課
	取組
	●二宮考古館や五日市郷土館における幼稚園、保育園、小中学校等からの解説依頼に対応するため、市民解説員を派遣した。 ●小学校からの依頼により、遠足での解説案内に対応するため、市民解説員を派遣した。 ●市民団体等からの依頼により、五日市憲法草案や五日市鉄道開設100周年に関する地域の歴史等についての解説・案内に対応するため、市民解説員を派遣した。
	課題
	継続した市民解説員の派遣が必要である。
	○ サークル等の人材情報の提供
	生涯学習推進課
	取組
	●サークルガイドを発行し、人材情報を提供した。
	課題
	「総合的な学習の時間」に対応できるよう、引き続き、情報の提供を行う必要がある。
	○ 生涯学習人材バンクを活用した人材の紹介
	生涯学習推進課
	取組
	●「総合的な学習の時間」に対する、人材バンク登録者の紹介事例は無かった。また、令和7年度に更新した人材バンクの登録者名簿を学校等に配付した。
	課題
	学校側が求める「専門知識を持つ地域人材」と登録者との間にギャップがあるため、地域人材等の掘り起こしが必要である。また、当該制度を活用するための相談・調整役を設定する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1	子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。	
	(3)	学校、家庭、地域と連携した子どもの学習環境の整備と活動の推進
事業名	8	地域と連携した学校づくりの推進
重点事業	○	
新規事業		
担当課	生涯学習推進課	
目的	地域の人材の活用等を通して、地域の特色を生かした安全で活気ある学校づくりを推進します。	
内容	○ 学校支援地域本部事業の実施	
令和7年度における取組状況及び課題	○	学校支援地域本部事業の実施
		生涯学習推進課
	取組	●各小学校の「学校支援地域本部」を基盤に、「地域学校協働本部」を設置し、学校のニーズに応じて登下校の見守り、学習支援、学校環境整備等の取組を実施した。
	課題	市内公立小中学校に学校運営協議会が設置されたことに伴い、中学校区においても地域学校協働活動推進事業を実施する体制づくりが必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1 子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
事業名	(3) 学校、家庭、地域と連携した子どもの学習環境の整備と活動の推進
重点事業	9 地域団体との連携による地域体験学習の促進
新規事業	
担当課	指導室・生涯学習推進課
目的	青少年を受け入れ、体験を促す団体に対して支援することで、子どもたちの地域での様々な体験学習を推進します。また、地域の協力により小・中学校で行われる郷土芸能の学習に関する取組を支援します。
内容	○ 民俗芸能、祭礼等地域の伝統行事等に対する支援 ○ 総合的な学習等における郷土芸能学習に対する支援
令和7年度における取組状況及び課題	○ 民俗芸能、祭礼等地域の伝統行事等に対する支援 生涯学習推進課 取組 ●秋川歌舞伎保存会の公演の実施に当たり、指導・助言及び歌舞伎用具の貸出しを行った。 ●あきる野夏まつりにおいて、山車パレード実施に対する指導・助言を行った。 ●歌舞伎保存団体及び郷土芸能連合会加盟団体の祭礼等における出演予定を市ホームページに掲載した。 課題 少子高齢化などに伴い、民俗芸能の後継者が不足することが懸念されるため、後継者育成への支援が必要である。また、団体のニーズを把握し、必要な支援を行っていく必要がある。 ○ 総合的な学習等における郷土芸能学習に対する支援 指導室 取組 ●各学校において、地域の人材等を活用した授業を実施することで、地域の特色や伝統・文化についての理解を促進した。 課題 単にゲストティーチャーとして地域人材を一時的に活用するだけでなく、地域の実態を踏まえた課題を設定し、学習を深めていく必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1 子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
事業名	(3) 学校、家庭、地域と連携した子どもの学習環境の整備と活動の推進
重点事業	10 青少年健全育成事業の推進
新規事業	○
担当課	生涯学習推進課
目的	青少年の健全育成を推進するため、「家庭の日」推進事業、「全国青少年健全育成」にちなむ啓発活動、青少年善行表彰式、青少年健全育成あきる野市大会や青少年委員との共催による青少年健全育成事業を実施します。
内容	○ 青少年健全育成啓発活動事業等の実施 ○ 青少年健全育成団体の活動の支援
令和7年度における取組状況及び課題	○ 青少年健全育成啓発活動事業等の実施
	生涯学習推進課
	取組
	●あきる野市青少年顕彰ふるさと委員会及びあきる野市青少年問題協議会との共催により、青少年善行表彰式を開催し、個人の部31人、団体の部7団体を表彰した。 ●あきる野市青少年委員及びあきる野市青少年問題協議会との共催により、青少年健全育成あきる野市大会・中学生の主張大会を開催し、市内の中学校に在籍する生徒14人が秋川キララホールにおいて、発表を行った。
	課題
	青少年の健全育成推進のため、引き続き子ども達を賞揚し、また、活躍の場を設ける必要がある。
	○ 青少年健全育成団体の活動の支援
	生涯学習推進課
	取組
	●各種事業の実施において、会場の確保及び提供、資料作成、会議の実施、周知活動等を行い、各団体の活動を支援した。
	課題
	各団体の活動及び事業が円滑に実施できるよう、引き続き支援を行う必要がある。また、地域学校協働活動推進事業との連携が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1	子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。	
	(3)	学校、家庭、地域と連携した子どもの学習環境の整備と活動の推進
事業名	11	新・放課後子ども総合プランの推進
重点事業		○
新規事業		○
担当課		生涯学習推進課
目的	全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、新・放課後子ども総合プランに基づき、放課後子ども教室を実施します。	
内容	○ 放課後子ども教室の実施 ○ 放課後子どもプラン運営委員会の開催	
令和7年度における取組状況及び課題	○	放課後子ども教室の実施
		生涯学習推進課
	取組	●6月から9月まで(夏季休業期間を除く)は、登録者数の多い5校について、熱中症対策として密集を避けるため、低学年、高学年に分けて隔週で参加できるように工夫して実施した。また、保護者のニーズを把握するため、放課後子ども教室の利用に関するアンケートを行った。
	課題	児童への多様な対応が求められていることから、活動サポーター等の人材確保及び研修等によるスキルアップが必要である。
	○	放課後子どもプラン運営委員会の開催
		生涯学習推進課
	取組	●運営委員会を開催し、令和7年度の各放課後子ども教室の実施状況について検証・評価を行った。また、令和8年度あきる野市放課後子どもプランを検討した。
	課題	子ども達の放課後の居場所づくりを推進するため、引き続き運営委員会による検証・評価、放課後子どもプランの検討を進める必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1	子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。	
	(3)	学校、家庭、地域と連携した子どもの学習環境の整備と活動の推進
事業名	12	職場体験学習の実施
重点事業		
新規事業		
担当課		指導室
目的	生徒に望ましい社会性や勤労観、職業観を育むとともに、地域理解を深め、郷土愛を育むため、地域の理解と協力の下、職場体験学習を実施します。	
内容	○ 職場体験学習の実施	
令和7年度における取組状況及び課題	○	職場体験学習の実施
		指導室
	取組	●市内公立中学校第2学年の生徒を対象に、3日間の職場体験を実施した。
	課題	新たな受入れ可能な事業所の開拓、または受入れ人数の拡大など、学校と事業所とで調整をする必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1	子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。	
	(3)	学校、家庭、地域と連携した子どもの学習環境の整備と活動の推進
事業名	13	青少年の各種交流事業の充実
重点事業	○	
新規事業		
担当課		指導室・生涯学習推進課
目的	友好姉妹都市宮城県栗原市、友好都市東京都大島町、国際姉妹都市マールボロウ市等との青少年の相互交流機会の充実を図り、互いの歴史・文化等の理解と友好を深め、次代を担う人材の育成につながる交流事業を充実させます。	
内容	○	交流事業の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○	交流事業の実施
		指導室
	取組	●令和7年7月31日、8月1日に友好姉妹都市栗原市を訪問し、栗原市の中学生と市内公立中学校生徒(26人)が生徒会等の交流を通して、友情や親睦を深めた。
	課題	両市の中学生の交流がより図れるような機会を多く設定する必要がある。
	○	交流事業の実施
		生涯学習推進課
	取組	●東京都市長会が実施する多摩・島しょ広域連携活動助成事業を活用し、大島子ども体験塾を羽村市と協働で実施した。(あきる野市参加者:28人、羽村市参加者:28人) ●国際友好都市マールボロウ市との教育交流事業として、受入事業ではマールボロウ市友好訪問団(ミドルスクール生徒5人、引率者3人)を8日間受け入れ、派遣事業では中学生派遣団(市内公立中学校生徒8人、中学校長1人)を8日間派遣し、相互交流を深めた。
	課題	大島子ども体験塾については、事業の持続可能となるよう指導者及びリーダーの人材確保が課題である。また、マールボロウ市との教育交流事業については、事業の実施のための日程調整と受入家庭の応募者の確保が課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1 子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
	(4) 子どもの奉仕活動・体験活動の推進
事業名	14 子どもの奉仕活動の推進
重点事業	
新規事業	
担当課	社会教育施設所管課(スポーツ推進課、図書館、生涯学習推進課)
目的	中学生の職場体験や社会福祉協議会が主催する青少年を対象とした「夏体験ボランティア」等奉仕活動の実施の受け入れを積極的に進め、子どもの奉仕活動を推進します。
内容	○ 社会教育施設等でのボランティアの受入れ促進
令和7年度における取組状況及び課題	○ 社会教育施設等でのボランティアの受入れ促進
	スポーツ推進課
	取組
	●五日市ファインプラザにおいて、市内外中学校の職場体験として、4校・延べ15人の生徒を受け入れた(令和7年度は秋川体育館については未実施)。
	課題
	五日市ファインプラザでは受入れ生徒数が増加しているが、秋川体育館では未実施となっているため、学校と調整を行い、受入れが実施できるようにする必要がある。
	○ 社会教育施設等でのボランティアの受入れ促進
	図書館
	取組
	●職場体験では、市内公立中学校生徒を中央図書館で4校・延べ11人、東部図書館エルで2校・延べ5人、五日市図書館で1校・延べ2人を受け入れた。 ●社会福祉協議会主催「夏体験ボランティア」では、中央図書館で2人のボランティアを受け入れた。
	課題
	施策を進めるためには、多くの学生・生徒に参加してもらう必要があるため、周知方法及び参加申込み方法を工夫する必要がある。
	○ 社会教育施設等でのボランティアの受入れ促進
	生涯学習推進課
	取組
	●秋川キララホールにおいて、市内外中学校の職場体験として、5校・延べ20人の生徒を受け入れた。 ●中央公民館において、市内公立中学校及び都立高等学校の職場体験として、2校・延べ7人の生徒を受け入れた。
	課題
	通常業務の中で受入れを行うため、早期のスケジュール把握と受入体制の整備が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1	子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明		近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
	(4)	子どもの奉仕活動・体験活動の推進
事業名	15	学校における奉仕活動の体験を生かした学習の充実
重点事業		
新規事業		
担当課		指導室
目的		豊かな人間性を育むため、「総合的な学習の時間」を活用し、福祉施設、地域等の協力により、地域の特性を生かした奉仕活動の充実を図ります。
内容		○ 地域の資源を活用した総合的な学習の時間の充実
令和7年度における取組状況及び課題	○	地域の資源を活用した総合的な学習の時間の充実
		指導室
	取組	●地域の人、社会、自然に関わる体験活動等を通じて、課題を設定し、その解決に向けた方法を考え取り組んだ。
	課題	充実した体験や交流ができている一方、児童・生徒自身が、活動を通してこれから自分に何ができるのかを考えたり、表現したりする場を意図的・計画的に設定することにより、未知の状況において活用できる力を身に付けさせる必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1 子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。
	(4) 子どもの奉仕活動・体験活動の推進
事業名	16 各種体験活動の充実
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	自然や文化を学び、生きる力や豊かな人間性を育むため、学校支援地域本部事業等と連携し、青少年の奉仕活動・体験活動を支援するために人材登録・紹介、調整等を行う体験活動等支援センターを充実させるほか、体験事業を実施します。
内容	○ 人材バンクの充実 ○ 体験活動等支援センターの充実 ○ 羽村市との合同による「大島子ども体験塾」の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○ 人材バンクの充実
	生涯学習推進課
	取組 ●青少年の各種活動を支援する人材の充実を図るため、人材バンク事業の周知を市ホームページ等で実施した。また、人材バンクにおける登録件数は59件（個人52件、団体7件）であった。
	課題 青少年の各種活動を支援できる人材が、積極的に人材バンクへ登録できるようにすることが課題である。
	○ 体験活動等支援センターの充実
	生涯学習推進課
	取組 ●青少年健全育成地区委員会等の団体が実施する事業に対して、鍋・飯ごう等の資機材の貸出しを行った。
	課題 貸出しする資機材を維持管理することが課題である。
	○ 羽村市との合同による「大島子ども体験塾」の実施
	生涯学習推進課
	取組 ●東京都市長会が実施する多摩・島しょ広域連携活動助成事業を活用し、大島子ども体験塾を羽村市と協働で実施した。（あきる野市参加者：28人、羽村市参加者：28人）
	課題 参加者及びリーダーの応募が安定し、持続可能な事業にすることが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	1	子どもの豊かな成長を支援する学習の充実
施策の説明	近年、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもたちが新たな課題に立ち向かう意欲や問題解決能力を身に付けるためには、学校で組織的・計画的に学習するだけでなく、地域社会の中で様々な年齢・立場の方と交流し、いろいろな生活体験や社会体験を積み重ねることが重要です。 しかしながら、現代はそのような活動機会の減少や、地域社会との関係の希薄化が指摘されており、地域の教育力を生かすための仕組みづくりが必要になっています。 子ども本人やその保護者が、家庭や学校・行政はもちろん、地域の様々な支援者からサポートを受けつつ、豊かな成長に結びつく学習ができる環境づくりを目指します。	
	(5)	子どもたちのスポーツ活動の推進
事業名	17	子ども達を対象としたスポーツ大会・教室等の充実
重点事業		
新規事業		
担当課		スポーツ推進課
目的	次世代を担う子どもたちに、健康で心豊かな生活を送ることの大切さと、体を動かす楽しみを知ってもらう生涯スポーツの基礎づくりの場を提供します。また、青少年にスポーツの喜びとスポーツを通じた体と心を育てる場として、スポーツ少年団の育成を支援します。	
内容	○ 各種大会・教室等の実施 ○ スポーツ少年団の育成の支援	
令和7年度における取組状況及び課題	○	各種大会・教室等の実施
		スポーツ推進課
	取組	●子どもすもう大会を開催し、延べ238人の参加があった。 ●小中学生駅伝大会を開催し、延べ547人の参加があった。 ●少年少女ドッジボール大会を開催し、延べ447人の参加があった。
	課題	年間を通じて、各種大会等を実施できた。参加者は増加したが、時代の変化や多様化する市民ニーズに合わせて、サービスや仕組みの充実・改善を一層推進する必要がある。
	○	スポーツ少年団の育成の支援
		スポーツ推進課
	取組	●スポーツ少年団が活動するための場の提供を行い、スポーツ協会を通じて、ジュニアスポーツの普及と選手の育成を図るための大会及び講習会の実施を支援した。
	課題	児童・生徒数は減少しており、少年団に所属する子どもたちの人数も減少傾向にある。スポーツ協会と連携し、現在、少年団に所属している子どもたちのスポーツ離れを防ぐために、ジュニア期の普及事業等について検討する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	2	社会の変化に対応した学習の充実
施策の説明	少子高齢化や高度情報化など、社会の変化に伴い様々な課題が生まれています。若年期に学んだ知識・技術だけでは生き抜くことが難しいと言われる「人生100年時代」の現代では、時勢に応じた学習を充実させることが肝要です。 市民が求める学習内容・方法に応じることができるよう、民間学習事業者等との連携など工夫を凝らし、社会の変化に対応した学習を充実させます。	
	(1)	情報化に対応した学習の推進
事業名	18	ICT講習会の実施
重点事業		○
新規事業		○
担当課		生涯学習推進課
目的	スマートフォンやパソコン、タブレット端末の使い方講習会を実施し、より多くの市民がICTを活用した生涯学習に参画できる環境づくりを行います。	
内容	○ ICTに関する講習会の実施	
令和7年度における取組状況及び課題	○	ICTに関する講習会の実施
		生涯学習推進課
	取組	●情報処理学習ボランティアを講師として、ITボランティア事業によるパソコンQ&Aを20回実施し、延べ51人が参加した。 ●スマホ体験教室を5講座実施し、延べ79人が参加した。 ●「高齢者対象スマートフォン相談会」及び「こどものデジタル創作体験」(東京都への協力事業)を11回実施し、延べ86人が参加した。
	課題	継続した学習機会の提供が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	2 社会の変化に対応した学習の充実
施策の説明	少子高齢化や高度情報化など、社会の変化に伴い様々な課題が生まれています。若年期に学んだ知識・技術だけでは生き抜くことが難しいと言われる「人生100年時代」の現代では、時勢に応じた学習を充実させることが肝要です。 市民が求める学習内容・方法に応じることができるよう、民間学習事業者等との連携など工夫を凝らし、社会の変化に対応した学習を充実させます。
	(1) 情報化に対応した学習の推進
事業名	19 大学や民間学習事業者等との連携事業の充実
重点事業	○
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	高校・大学やNHK学園等の民間学習事業者と連携した講座の開催の推進を図ります。
内容	○ 学習事業者と連携した講座の実施 ○ 大学等と連携した生涯学習活動・講座等の後援、情報提供等の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○ 学習事業者と連携した講座の実施
	生涯学習推進課
	取組 ●NHK学園との共催事業を実施した。講座総数は614講座、受講人数は延べ20,682人であった。
	課題 様々な民間学習事業者等と連携した学習機会の提供を継続して実施する必要がある。
	○ 大学等と連携した生涯学習活動・講座等の後援、情報提供等の実施
	生涯学習推進課
	取組 ●NHKとの共催事業として講演会を3回実施し、参加者は358人であった。
	課題 大学等と連携した学習機会の提供を継続して実施する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	2 社会の変化に対応した学習の充実
施策の説明	少子高齢化や高度情報化など、社会の変化に伴い様々な課題が生まれています。若年期に学んだ知識・技術だけでは生き抜くことが難しいと言われる「人生100年時代」の現代では、時勢に応じた学習を充実させることが肝要です。 市民が求める学習内容・方法に応じることができるよう、民間学習事業者等との連携など工夫を凝らし、社会の変化に対応した学習を充実させます。
事業名	(2) 多文化共生社会を目指した学習の支援
重点事業	20 国際理解のための学習機会の充実
新規事業	
担当課	企画政策課・生涯学習推進課
目的	市民が多文化共生について理解し、相互交流ができるよう学習機会の充実を図ります。
内容	○ 国際理解講座の実施 ○ 市民サークルとの協働による事業の実施 ○ 国際貢献活動等に関する情報提供の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○ 国際理解講座の実施
	生涯学習推進課
	取組 ●市民企画講座において、国際理解をテーマとして取り上げた講座を1回実施した。
	課題 今後も引き続き、講座のテーマとして取り上げる必要がある。
	○ 市民サークルとの協働による事業の実施
	生涯学習推進課
	取組 ●国際姉妹都市マールボロウ市との教育交流事業において、受入事業では受入家庭のサポート等について、また、派遣事業では、中学生の事前研修への参加及び現地同行等について、国際化推進団体の協力を得て事業を実施した。
	課題 マールボロウ市との教育交流事業において、国際化推進団体は欠かせない存在であるため、引き続き協力して事業を実施していく必要がある。
	○ 国際貢献活動等に関する情報提供の実施
	企画政策課
	取組 ●外国人住民に対して、東京都などが実施する外国人向けの講習の案内やチラシ等を窓口を設置するとともに、市ホームページなどの情報を更新し、周知・啓発を行った。
	課題 外国人住民の困りごとを把握した上で、当事者に対する効果的な周知・啓発の在り方を検討していく必要がある。 また、市内で行われている外国人住民への支援に関する情報について、市ホームページ等で周知等を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	2 社会の変化に対応した学習の充実
施策の説明	少子高齢化や高度情報化など、社会の変化に伴い様々な課題が生まれています。若年期に学んだ知識・技術だけでは生き抜くことが難しいと言われる「人生100年時代」の現代では、時勢に応じた学習を充実させることが肝要です。 市民が求める学習内容・方法に応じることができるよう、民間学習事業者等との連携など工夫を凝らし、社会の変化に対応した学習を充実させます。
事業名	(2) 多文化共生社会を目指した学習の支援
重点事業	21 外国人に向けた学習機会の充実
新規事業	
担当課	企画政策課・生涯学習推進課
目的	外国籍の市民が日本語等を学ぶための学習機会を得られるよう支援します。
内容	○ 学習に関する問合せ、相談に対する支援
令和7年度における取組状況及び課題	○ 学習に関する問合せ、相談に対する支援
	企画政策課
	取組
	●継続的な情報提供の取組が必要であることから、令和6年度に引き続き、東京都等から外国人向けの講習等の案内があった際は、チラシ等を窓口を設置した。また、市ホームページにおいて、国や東京都、市の取組をまとめたページの更新を行った。 ●庁内窓口における外国人相談対応の充実のため、外国人相談窓口を継続して設置した。令和7年度においては、14件の多言語翻訳機の利用があった。
	課題
	多言語翻訳機について、必要とする外国人が気軽に使用できるよう、周知が必要である。
	○ 学習に関する問合せ、相談に対する支援
	生涯学習推進課
	取組
	●日本語学習に関する問合せや相談は特に無かった。
	課題
	継続して、情報収集及び情報提供を行い、相談に対する支援を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	2	社会の変化に対応した学習の充実
施策の説明		少子高齢化や高度情報化など、社会の変化に伴い様々な課題が生まれています。若年期に学んだ知識・技術だけでは生き抜くことが難しいと言われる「人生100年時代」の現代では、時勢に応じた学習を充実させることが肝要です。 市民が求める学習内容・方法に応じることができるよう、民間学習事業者等との連携など工夫を凝らし、社会の変化に対応した学習を充実させます。
	(3)	在宅学習の推進
事業名	22	オンライン学習の推進
重点事業		○
新規事業		○
担当課		生涯学習推進課
目的		学習者の利便性を高め、より多くの市民が生涯学習に参加できるよう、オンライン学習を推進します。
内容		○ オンラインでの講座の実施の検討
令和7年度における取組状況及び課題	○	オンラインでの講座の実施の検討
		生涯学習推進課
	取組	●市民企画講座、男女共同参画啓発事業「女と男のライフフォーラムinあきる野」において、リモートライブ配信を行った。
	課題	リモートライブの受講希望が少ないためリモート配信の周知を図るとともに、継続した学習機会の提供が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	2 社会の変化に対応した学習の充実
施策の説明	少子高齢化や高度情報化など、社会の変化に伴い様々な課題が生まれています。若年期に学んだ知識・技術だけでは生き抜くことが難しいと言われる「人生100年時代」の現代では、時勢に応じた学習を充実させることが肝要です。 市民が求める学習内容・方法に応じることができるよう、民間学習事業者等との連携など工夫を凝らし、社会の変化に対応した学習を充実させます。
	(3) 在宅学習の推進
事業名	23 在宅学習に必要な学習情報の提供
重点事業	○
新規事業	○
担当課	図書館・生涯学習推進課
目的	市ホームページやデジタルアーカイブなどのICTを活用し、在宅学習に必要な学習情報を提供します。
内容	○ 市ホームページ及びデジタルアーカイブを活用した学習情報の提供 ○ 講座等の動画サイトへの掲載
令和7年度における取組状況及び課題	○ 市ホームページ及びデジタルアーカイブを活用した学習情報の提供
	図書館
	取組 ● 図書館ホームページには292,857件、デジタルアーカイブには19,969件、34,589ページのアクセスがあった。
	課題 引き続き、蔵書検索システムによる所蔵情報をはじめとした学習情報提供を行い、また、デジタルアーカイブに画像資料を追加し、充実を図る。
	○ 市ホームページ及びデジタルアーカイブを活用した学習情報の提供
	生涯学習推進課
	取組 ● 市民解説員による「あきる野歴史クイズ」、市内探訪の実施報告、市民企画講座報告を市ホームページに掲載し、学習情報の提供を行った。
	課題 在宅学習に対応するため、継続した市ホームページを活用した学習情報の提供が必要である。
	○ 講座等の動画サイトへの掲載
	図書館
	取組 ● 講座等の動画を動画サイトへ掲載することについて検討を進めているが、現在のところ実施していない。
	課題 著作権等の権利許諾に留意しながら、検討を続ける。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	2	社会の変化に対応した学習の充実
施策の説明		少子高齢化や高度情報化など、社会の変化に伴い様々な課題が生まれています。若年期に学んだ知識・技術だけでは生き抜くことが難しいと言われる「人生100年時代」の現代では、時勢に応じた学習を充実させることが肝要です。 市民が求める学習内容・方法に応じることができるよう、民間学習事業者等との連携など工夫を凝らし、社会の変化に対応した学習を充実させます。
	(3)	在宅学習の推進
事業名	24	在宅学習者のネットワークづくりの推進
重点事業		
新規事業		○
担当課		生涯学習推進課
目的		在宅で学習する市民が、同じ興味関心を持つ相手とつながり、親交を持ったりお互いを高め合うことができるよう、ネットワークづくりを推進します。
内容		○ 生涯学習人材バンク等学習成果の活用場や市民団体についての情報の提供
令和7年度における取組状況及び課題	○	生涯学習人材バンク等学習成果の活用場や市民団体についての情報の提供
		生涯学習推進課
	取組	●生涯学習人材バンク事業について、市ホームページへ掲載することにより、登録講師情報や活用方法等について周知を図った。 ●サークルガイドについて、冊子の配布及び市ホームページでの公開により周知を図った。
	課題	在宅学習者のニーズを把握し、ネットワークづくりに活用できる情報を提供することが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	2	社会の変化に対応した学習の充実
施策の説明	少子高齢化や高度情報化など、社会の変化に伴い様々な課題が生まれています。若年期に学んだ知識・技術だけでは生き抜くことが難しいと言われる「人生100年時代」の現代では、時勢に応じた学習を充実させることが肝要です。 市民が求める学習内容・方法に応じることができるよう、民間学習事業者等との連携など工夫を凝らし、社会の変化に対応した学習を充実させます。	
	(4)	市民の求める学習内容・方法の把握
事業名	25	アンケート・聞き取り等によるニーズの把握・活用
重点事業	○	
新規事業		
担当課	生涯学習推進課	
目的	アンケートや聞き取り等により、市民のニーズを把握し、事業実施に役立てます。	
内容	○ アンケート等の実施	
令和7年度における取組状況及び課題	○	アンケート等の実施
		生涯学習推進課
	取組	●各種のイベント及び講座において、事後のアンケートにより市民ニーズの把握に努めた。 ●公民館事業・生涯学習推進事業・男女共同参画啓発事業の各種講座・講演会において、受講者へのアンケートや聞き取り等により、市民の学習ニーズを把握した。 ●文化財講座の受講者に対し、アンケートを実施し、講座に対する参加者のニーズを確認した。
	課題	社会の変化に対応した学習を提供するため、引き続き市民ニーズの把握に努めることが必要である。また、アンケートによるニーズ把握にとどまっているため、今後はその結果を具体的な事業改善へ確実に反映・連動させることが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	3	生涯スポーツと健康に関する学習の推進
施策の説明	スポーツは、体力の向上や生活習慣病の予防に役立つだけでなく、ストレスの発散や精神的な充足感をもたらすなど、心身両面の健康保持につながります。高齢化が進む現在、市民がいつまでも健康でいられるよう、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツの機会提供や健康に関する学習を推進していきます。	
	(1)	生涯スポーツの推進
事業名	26	生涯スポーツの推進
重点事業		○
新規事業		
担当課		スポーツ推進課
目的	各種スポーツ大会や講習会・教室等を開催するほか、総合型地域スポーツクラブへの支援を通して、次世代を担う子どもたちから高齢者まで、ライフステージに応じた活動機会の充実と生涯スポーツの推進を図ります。	
内容	○ 各種大会、講習会等の開催 ○ 総合型地域スポーツクラブの支援の実施	
令和7年度における取組状況及び課題	○	各種大会、講習会等の開催
		スポーツ推進課
	取組	●あきる野市総合スポーツ祭を開催し、延べ4,393人の参加があった。 ●ボッチャあきる野大会を開催し、延べ79人の参加があった。 ●体操・室内ニュースポーツ(3月)及びペタンク体験教室(4月～3月)を開催し、延べ84人の参加があった。
	課題	総合スポーツ祭をはじめ、市民が気軽にスポーツを楽しめる機会を創出することが求められる。また、事業内容については、時代の変化や多様化する市民ニーズに対応し、更なる充実と改善が必要である。
	○	総合型地域スポーツクラブの支援の実施
		スポーツ推進課
	取組	●総合型地域スポーツクラブの活動場所の確保や調整を行った。 ●総合型地域スポーツクラブが行う事業に対して市ホームページへの掲載、チラシの配布等の広報活動への協力を行った。 ●総合型地域スポーツクラブと連携し、スポーツ大会や講習会等を実施した。
	課題	会員数の減少やクラブ経営に課題があり、クラブの存続が不十分であるため、活動において、相談及び支援を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	3	生涯スポーツと健康に関する学習の推進
施策の説明	スポーツは、体力の向上や生活習慣病の予防に役立つだけでなく、ストレスの発散や精神的な充足感をもたらすなど、心身両面の健康保持につながります。高齢化が進む現在、市民がいつまでも健康でいられるよう、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツの機会提供や健康に関する学習を推進していきます。	
	(1) 生涯スポーツの推進	
事業名	27	市民が主体となったスポーツ振興への支援
重点事業	○	
新規事業		
担当課	スポーツ推進課	
目的	市民が主体となって行うスポーツに親しみスポーツを楽しむ環境づくりを推進するため、関係団体の支援を図ります。	
内容	○ スポーツ団体への支援	
令和7年度における取組状況及び課題	○	スポーツ団体への支援
		スポーツ推進課
	取組	●スポーツ協会やスポーツ少年団の活動を支援し、各種教室やイベントを実施した。 ●スポーツ協会、加盟団体と連携し、市民の体力向上、健康増進等を目的に、総合スポーツ祭(4,393人)、スポーツの日スポーツフェスティバル(526人)を実施した。
	課題	スポーツ協会加盟団体の会員数が減少し、指導者の高齢化も課題となっている。また、スポーツから離れてしまった方々が自発的にスポーツに取り組み、継続的にスポーツを行うための環境整備が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	3	生涯スポーツと健康に関する学習の推進
施策の説明	スポーツは、体力の向上や生活習慣病の予防に役立つだけでなく、ストレスの発散や精神的な充足感をもたらすなど、心身両面の健康保持につながります。高齢化が進む現在、市民がいつまでも健康でいられるよう、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツの機会提供や健康に関する学習を推進していきます。	
	(1) 生涯スポーツの推進	
事業名	28	高齢者が気軽にスポーツに親しむ環境づくりの推進
重点事業		
新規事業		
担当課	スポーツ推進課	
目的	総合型地域スポーツクラブへの支援等を通じ、高齢者に運動の機会を提供し、運動の楽しさを知ってもらう場の充実を図ります。	
内容	○ 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員による高齢者を対象とした各種講座等の実施及び支援	
令和7年度における取組状況及び課題	○	総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員による高齢者を対象とした各種講座等の実施及び支援
		スポーツ推進課
	取組	●個人利用全体(150,854人)におけるリフレッシュカードの利用率は約3割(年間41,335人)であった。 ●高齢者を対象に介護予防教室を5回実施し、延べ80人の参加があった。 ●スポーツ推進委員の事業として、スポーツの日スポーツフェスティバルにおいて、体力測定事業を実施した。また、ペタンク体験教室やヘルシーウォーキング等の事業を実施した。
	課題	スポーツ施設における高齢者利用が多く、高齢者が安全に施設を利用できる運動整備を提供する。また、安心・安全に参加しやすいスポーツ事業を推進する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	3	生涯スポーツと健康に関する学習の推進
施策の説明	スポーツは、体力の向上や生活習慣病の予防に役立つだけでなく、ストレスの発散や精神的な充足感をもたらすなど、心身両面の健康保持につながります。高齢化が進む現在、市民がいつまでも健康でいられるよう、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツの機会提供や健康に関する学習を推進していきます。	
	(1) 生涯スポーツの推進	
事業名	29	障がい者が気軽にスポーツに親しむ環境づくりの推進
重点事業		
新規事業		
担当課	スポーツ推進課	
目的	障がい者が気軽にスポーツに親しむ場を提供するとともに、広く市民に向けて障がい者スポーツの普及に取り組みます。	
内容	○ 障がい者がスポーツに親しむ場の提供 ○ 障がい者スポーツを支援する人材の育成	
令和7年度における取組状況及び課題	○	障がい者がスポーツに親しむ場の提供
		スポーツ推進課
	取組	●障がい者スポーツ教室(5月～2月)を24回実施し、延べ432人の参加があった。 ●五日市ファインプラザの事業において、障がい児水泳教室を実施し、延べ49人の参加があった。
	課題	障がい者スポーツへの関心を高めるためには、パラスポーツの普及啓発に注力するとともに、障がい者スポーツ教室や事業の周知方法を工夫する必要がある。また、デフリンピックの開催に伴い、機運醸成の取組を行う必要がある。
	○	障がい者スポーツを支援する人材の育成
		スポーツ推進課
	取組	●障がい者スポーツ教室の実施に当たり、東京都の障害者スポーツ協会を含めた関係団体と意見交換を実施した。
	課題	教室を開催した際に、指導ができる人材の育成が求められる。また、障がい者スポーツ指導者資格だけでなく、支える人材や指導者、ボランティア、介助者などについても、ネットワークを広げるための課題がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	3	生涯スポーツと健康に関する学習の推進
施策の説明	スポーツは、体力の向上や生活習慣病の予防に役立つだけでなく、ストレスの発散や精神的な充足感をもたらすなど、心身両面の健康保持につながります。高齢化が進む現在、市民がいつまでも健康でいられるよう、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツの機会提供や健康に関する学習を推進していきます。	
	(1) 生涯スポーツの推進	
事業名	30	市の特性を生かしたスポーツ推進
重点事業		
新規事業		○
担当課		スポーツ推進課
目的	市民がスポーツへの関心を高め、心身の健康増進や体力向上を図る活動を手軽に継続的に取り組めるよう、身近な地域の豊かな自然環境を生かしたウォーキングなど、市の特性を生かしたスポーツ活動を推進します。	
内容	○ 地域の自然環境を生かしたウォーキング等の実施	
令和7年度における取組状況及び課題	○	地域の自然環境を生かしたウォーキング等の実施
		スポーツ推進課
	取組	●春のヘルシーウォーキングについては、延べ22人の参加があった。秋のヘルシーウォーキングでは、延べ18人の参加があった。 ●小中学生駅伝大会については、延べ547人の参加があった。
	課題	子どもから高齢者まで全年代の市民が参加でき、市の特性である自然や地形を活かすことができるスポーツ事業などの実施を検討する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	3 生涯スポーツと健康に関する学習の推進
施策の説明	スポーツは、体力の向上や生活習慣病の予防に役立つだけでなく、ストレスの発散や精神的な充足感をもたらすなど、心身両面の健康保持につながります。高齢化が進む現在、市民がいつまでも健康でいられるよう、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツの機会提供や健康に関する学習を推進していきます。
	(2) 健康に関する学習の推進
事業名	31 健康づくりの推進
重点事業	
新規事業	
担当課	健康課
目的	市民・地域・行政が一体となって、健康に対する意識の向上や正しい知識の普及を図り、市民の健康の保持増進を図ります。
内容	○ 健康教育の実施 ○ 健康づくりに関する各種事業の実施 ○ 地域の健康に関する活動を行うグループの支援
令和7年度における取組状況及び課題	○ 健康教育の実施
	健康課
	取組
	●健康に関する正しい知識の普及を図り、意識を高めることにより健康の保持・増進を推進するため、地域健康教室を14回(延べ209人参加)、健康づくり教室を8回(延べ118人参加)実施した。また、ホームページ等による健康情報提供を延べ29回行った。
	課題
	広報あきる野及び市ホームページ以外の情報提供方法について、イベント等を通じた周知及び健康づくり市民推進委員を介した地域での周知が必要である。
	○ 健康づくりに関する各種事業の実施
	健康課
	取組
	●誰もが健康を実感しながら暮らすことができるよう、様々な健康づくり事業を実施した。 ●各種健(検)診について、特定健康診査(受診者5,741人)、後期高齢者健診(受診者7,180人)、生活習慣病予防健診(受診者74人)及び各種特定疾病検診(がん検診 延べ27,844人、骨粗しょう症検診277人、結核検診8,846人、肝炎ウイルス検診795人)を行った。 ●健康づくり事業について、健康相談(379回、延べ1,119人参加)、地域イキイキ元気づくり事業(延べ522回、延べ6,485人参加)及び「第28回健康のつどい」(延べ2,840人参加)を行った。 ●めざせ健康あきる野21推進会議について、代表者会議を4回及び各班会議を12回開催し、全体活動として「第28回健康のつどい」におけるPR活動及び「めざせ健康あきる野21サポーター講座」(6人参加)を実施し、その他各班活動(延べ23回、延べ3,123人参加)を実施した。
	課題
	広報あきる野及び市ホームページ以外の情報提供方法について、イベント等を通じた周知及び健康づくり市民推進委員を介した地域での周知が必要である。また、各種健(検)診については、引き続き受診率向上のため案内及び申込方法について検討が必要である。

	○	地域の健康に関する活動を行うグループの支援
		健康課
	取組	●健康づくり市民推進委員については、研修会(延べ4回、延べ128人参加)実施等の支援を行った。 ●めざせ健康21推進会議については、21推進会議において今後の活動計画及び活動内容について協議し、活動支援を行った。
	課題	既存の健康推進グループが円滑に活動できるよう、引き続き支援を行う必要がある。 また、市民ボランティア募集に向けた周知方法を検討する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	3	生涯スポーツと健康に関する学習の推進
施策の説明	スポーツは、体力の向上や生活習慣病の予防に役立つだけでなく、ストレスの発散や精神的な充足感をもたらすなど、心身両面の健康保持につながります。高齢化が進む現在、市民がいつまでも健康でいられるよう、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツの機会提供や健康に関する学習を推進していきます。	
	(2)	健康に関する学習の推進
事業名	32	高齢者の健康維持に関する学習機会の充実
重点事業		
新規事業		
担当課		高齢者支援課
目的	高齢者の健康づくり教室等を開催し、健康維持に関する学習機会の充実を図ります。	
内容	○ 健康維持に関する学習機会の充実	
令和7年度における取組状況及び課題	○	健康維持に関する学習機会の充実
		高齢者支援課
	取組	●町内会・自治会等からの依頼により、地域包括支援センターが高齢者の健康維持に関する講座等を7か所(秋川地区5か所・五日市地区2か所)で開催し、参加者166人を対象に学習機会の充実に努めた。
	課題	様々な普及啓発活動を実施できるように地域包括支援センターと連携し、内容について検討する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4 あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明	郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
	(1) 地域の文化等の保護及び地域資源を活用した学習の充実
事業名	33 文化財の調査・指定・保存事業の充実
重点事業	○
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	市内の文化財を調査し、適切に指定・保存することであきる野市の文化を後世に伝え、郷土学習に活用します。
内容	○ 文化財調査の実施 ○ 文化財指定の実施 ○ 文化財保存の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○ 文化財調査の実施
	生涯学習推進課
	取組
	●高明神社（乙津）及び大悲願寺（横沢）の仏像調査を実施した。 ●寄贈や寄託をされた市内の古文書の調査・整理を進めた。
	課題
	市内の歴史を明らかにし、文化財を適切に保存していくために、今後も継続して文化財調査を実施していく必要がある。
	○ 文化財指定の実施
	生涯学習推進課
	取組
	●文化財の指定は行わなかったが、文化財保護審議会において委員に各種文化財に対する意見を聞いた。
	課題
	文化財調査の他に、貴重と判断される文化財の指定を促進するため、指定基準を作成中である。
	○ 文化財保存の実施
	生涯学習推進課
	取組
	●広徳寺境域総門袖塀の屋根の修理事業等に対して、文化財保存の観点から指導・助言を行った。
	課題
	引き続き、文化財の定期的な状況確認を行い、所有者等と協議の上、必要な保存処理をする必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4 あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明	郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
事業名	(1) 地域の文化等の保護及び地域資源を活用した学習の充実
重点事業	34 文化財の普及啓発事業の充実
新規事業	○
担当課	図書館・生涯学習推進課
目的	あきる野市の文化財に対する理解を深めるため、郷土史関係図書の発行やホームページへの情報の掲載、文化財説明板の維持・管理を図ります。また、五日市憲法草案などの指定文化財の公開・展示や直接文化財に触れることができる「さわれる土曜日」の実施、歴史・民俗等をテーマにした講座・体験教室等を開催することで、市民があきる野市の歴史・文化に親しむ郷土学習の場の充実を図ります。
内容	○ 郷土史関係図書の作成・配布 ○ 文化財説明板の維持・管理 ○ 文化財の公開・活用の推進 ○ 「さわれる土曜日」の実施 ○ 歴史・文化等をテーマにした講座・体験教室等の開催
令和7年度における取組状況	○ 郷土史関係図書の作成・配布
	生涯学習推進課
	取組
	●五日市郷土館機関誌である「郷土あれこれ第37号」を発行した。 ●多摩郷土誌フェアへ参加し、発行図書の頒布を行った。
	課題
	発行済の図書の頒布に加え、調査研究した文化財に関する報告書を公開するなど、郷土史関係図書の作成・配布や公開について充実させていく必要がある。
	○ 文化財説明板の維持・管理
	生涯学習推進課
	取組
	●市内に設置している文化財説明板(市・都)の一部について設置状況の確認を適宜行った。
令和7年度における取組状況	課題
	説明板が未設置の文化財や劣化の進んでいる説明板に対して、ICTを活用した新たな周知方法も検討の上、計画的な整備を進める必要がある。
	○ 文化財の公開・活用の推進
	生涯学習推進課
	取組
	●東京文化財ウィークへの参加や、五日市郷土館及び二宮考古館での企画展の実施などにより、文化財の公開を行った。 ●市指定有形文化財「旧市倉家住宅」を活用し年中行事に関する展示を行った。 ●書籍発行等を目的とする画像データの提供等を29件行った。 ●市内施設や他市の資料館に対して、企画展等で使用することを目的に収蔵資料の貸出しを3件行った。 ●郷土学習支援として、市内文化財に対する問合せ対応を216件行った。
	課題
	文化財を適切に保護した上で、広報活動やデジタルデータを充実させるなど、市民への公開普及を進めていく必要がある。

及び課題	○	文化財の公開・活用の推進
		図書館
	取組	●「五日市憲法草案」の原本展示を年2回(4月26日～5月6日、10月25日～11月3日)実施した。 ●書籍発行等を目的とする画像データの提供を6件行った。
	課題	引き続き文化財の活用を通じて、市民への郷土学習の普及啓発を図る必要がある。
	○	「さわれる土曜日」の実施
		生涯学習推進課
	取組	●二宮考古館において、特別展示や講座を実施していない土曜日に合計41回実施した。
	課題	より多くの方々に参加してもらうために、さらなる周知が必要である。
	○	歴史・文化等をテーマにした講座・体験教室等の開催
		生涯学習推進課
	取組	●文化財講座として『五日市線開業100年記念講演「五日市線物語」』を行った。(受講者70人) ●小学生以上を対象とし、二宮考古館において「まが玉づくり」(全3回、受講者計45人)、「土器の拓本を取ってみよう～土器!ドキ!図鑑づくり～」(全1回、受講者5人)、「アンギンコースターづくり」(全1回、受講者10人)、文化財キーホルダーづくり(全5回、受講者計6人)を行った。
	課題	より多くの方々に講座や体験教室に参加してもらうために、さらなる周知や新しい体験教室の企画が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4	あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明		郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
	(1)	地域の文化等の保護及び地域資源を活用した学習の充実
事業名	35	学習ボランティアによる文化財の活用と普及活動の推進
重点事業		
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的		学習ボランティア(市民解説員)による市内文化財施設等での解説活動を通して、市民の郷土学習の機会の充実を図ります。
内容		○ 市民解説員による展示解説等の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○	市民解説員による展示解説等の実施
		生涯学習推進課
	取組	●五日市郷土館、二宮考古館や旧市倉家住宅での定期解説を始め、市民解説員が案内する「市内探訪」や市民解説員発表会等の解説活動で、65人の市民解説員が市の自然・文化・歴史についての解説を延べ1,615人に行った。 ●市民解説員による「あきる野歴史クイズ」を発行し、多くの住民に市の自然・文化・歴史を伝えた。(15分野延べ1,337冊)
	課題	引き続き、多様な学習機会の提供をするとともに、見学問合せや、学習相談の際に市民解説員の解説を紹介するなど、周知活動を継続する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4	あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明	郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。	
	(1) 地域の文化等の保護及び地域資源を活用した学習の充実	
事業名	36	地域の伝統文化を保存・継承する活動への支援
重点事業		
新規事業		
担当課	生涯学習推進課	
目的	あきる野市に伝わる伝統文化について、保存・継承する活動を支援します。	
内容	○ 伝統文化保存活動の支援	
令和7年度における取組状況及び課題	○	伝統文化保存活動の支援
		生涯学習推進課
	取組	●秋川歌舞伎保存会の各公演の実施に当たり、指導・助言及び歌舞伎用具の貸出しを行った。 ●軍道紙保存会に指導・助言を行った。 ●郷土芸能連合会及び歌舞伎関係団体に補助金を交付した。
	課題	少子高齢化などに伴い、民俗芸能保存団体の後継者が不足することが懸念されるため、後継者育成への支援が必要である。また、団体のニーズに沿った支援を行っていく必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4 あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明	郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
	(1) 地域の文化等の保護及び地域資源を活用した学習の充実
事業名	37 地域・行政資料の収集と情報提供の充実
重点事業	
新規事業	
担当課	図書館
目的	地域資料・行政資料を積極的に収集するとともに、迅速に提供できるよう整備します。通常では閲覧することのできない地域資料を電子データ化し、インターネットを通じて学習者に情報提供することで活用を促進します。
内容	○ 地域・行政資料の収集 ○ 秋川流域の新聞記事の収集・見出しの公開 ○ デジタルアーカイブコンテンツの追加
令和7年度における取組状況及び課題	○ 地域・行政資料の収集
	図書館
	取組 ●各部署が発行する行政資料を収集し、登録した。また、地域のパンフレットについては、タイトル・発行元・所蔵館等をまとめた地域資料パンフレット目録を更新し、収集を行った。
	課題 追加や廃刊、変更等その都度更新を進めていく必要がある。
	○ 秋川流域の新聞記事の収集・見出しの公開
	図書館
	取組 ●2,110タイトルの秋川流域関係新聞記事を収集、デジタル化し、追加した。
	課題 レファレンスとの連携強化を、進めていく必要がある。
	○ デジタルアーカイブコンテンツの追加
	図書館
	取組 ●秋川渓谷観光ポスターの追加を年2回、「あきる野市の写真館」ページ内に追加した。
	課題 権利関係等を適切に処理するためにも、他担当課と連携していく必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4	あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明		郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
	(1)	地域の文化等の保護及び地域資源を活用した学習の充実
事業名	38	地域の施設・人材を生かした学習の場づくりの推進
重点事業		
新規事業		
担当課		指導室・生涯学習推進課
目的		学校や企業の社会貢献活動と連携した学習や、施設、技術等の相互活用等を生かした学習の場づくりを支援します。
内容		○ 地域の施設・人材を活用した学習機会の活用
令和7年度における取組状況及び課題	○	地域の施設・人材を活用した学習機会の活用
		指導室
	取組	●地域の伝統・文化を体験したり、自然体験活動を取り入れたりするなど、地域の資源を活用した活動を総合的な学習の時間等の指導計画に位置付けて実施した。
	課題	体験や活動すること自体を目的とせず、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現という探究的な学習過程において、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することが必要である。
	○	地域の施設・人材を活用した学習機会の活用
		生涯学習推進課
	取組	●地域で活躍する専門的知識を有する人材を講師として迎え、公民館事業（寿大学・市民大学・家庭教育講座・青少年教室）、生涯学習推進事業（市民解説員養成講座「市民カレッジ」）等を実施した。
	課題	地域の人材情報を収集し、地域の人材を生かした学習機会の提供を継続して行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4 あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明	郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
事業名	(1) 地域の文化等の保護及び地域資源を活用した学習の充実
重点事業	39 自然環境教育の推進
新規事業	
担当課	環境政策課
目的	あきる野市の自然の特性を生かした自然環境教育を推進します。
内容	○ 里山体験や自然観察、森づくり等の活動を通した自然環境教育の推進 ○ 森林レンジャーあきる野による森の子コレンジャー活動 ○ 小宮ふるさと自然体験学校における自然体験学習
令和7年度における取組状況及び課題	○ 里山体験や自然観察、森づくり等の活動を通した自然環境教育の推進
	環境政策課
	取組 ●業務委託により「菅生子どもの森活動」「子どもが主役のオオムラサキの森活動」を実施し、延べ91人が参加し、里山体験や生き物観察等を行った。
	課題 野外活動のため、安全管理上や活動内容により少人数実施としているが、一方では多くの子どもたちの参加により施策の推進が図れることから、バランスを取ることが困難である。
	○ 森林レンジャーあきる野による森の子コレンジャー活動
	環境政策課
	取組 ●第15期の森の子コレンジャー10人(小学4、5年生)が1年間を通じて活動し、動植物の観察やビオトープの整備を行った。OBによる同窓会も年1回、実施している。
	課題 OBの高校生、大学生が同窓会に参加してくれるようになったことは、本活動の成果であり、今後も継続して実施していく。また、登山や動植物観察で長時間の活動となるため、活動中における熱中症などの体調不良に注意する必要がある。
	○ 小宮ふるさと自然体験学校における自然体験学習
	環境政策課
	取組 ●市内小学校の自然体験学習や市内外の団体、グループの自然体験の受入れ事業を実施し、延べ2,408人が参加した。
	課題 新規利用者を増やすためのPRや周知方法の検討、また地域資源の活用や市内の関連団体との連携についても検討する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4 あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明	郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
	(2) 芸術文化活動の振興
事業名	40 若手芸術家の育成と市民との芸術交流の促進
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	若手芸術家の育成や市民との芸術交流の促進のため、アーティスト・イン・レジデンス事業、秋川キララホールにおける音楽振興事業の充実を図ります。
内容	☐ 育成・交流事業の継続実施 ☐ 芸術振興事業の充実
令和7年度における取組状況及び課題	☐ 育成・交流事業の継続実施 生涯学習推進課
	取組 ●アーティスト・イン・レジデンス事業において、日本人2人と外国人(ルーマニア)の版画家1人を招へいし、事業を実施した。 ●五日市小学校の図工授業支援、児童館でのワークショップ及びアートスタジオ五日市でのオープンスタジオを実施し、地域住民との交流を図った。
	課題 市内全域への当該事業の周知を強化するとともに、寄贈作品を効果的に活用して芸術交流の成果を広く市民へ還元していくことが課題である。
	☐ 芸術振興事業の充実 生涯学習推進課
	取組 ●市内の施設において寄贈作品の展示会を開催し、事業の周知と芸術理解の促進に取り組んだ。 ●秋川キララホール指定管理者により、市内音楽家によるクラシックコンサートを実施し、入場者は450人であった。
	課題 SNSを活用するなど、幅広い層に対し当該事業の周知及び交流機会を作ることが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4	あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明		郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
	(2)	芸術文化活動の振興
事業名	41	アートスタジオ五日市を活用した事業の充実
重点事業		
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的		アートスタジオ五日市を拠点として、外国人アーティストと日本人アーティストの交流を図ることにより、版画芸術家のネットワークづくりを推進します。 また、市民が版画制作の場として活用できるよう版画教室等地域利用の促進を図ります。
内容		○ 招へいアーティストによるネットワーク形成の支援 ○ 版画教室の開催
令和7年度における取組状況及び課題	○	招へいアーティストによるネットワーク形成の支援
		生涯学習推進課
	取組	●過去の招へい芸術家へ版画展等の案内を送付し、再び来所・交流する機会を設けることでネットワークの継続を図った。
	課題	本事業及びアートスタジオ五日市を通じた版画芸術家ネットワークが継続して機能するよう、引き続き交流の機会の周知を図ることが課題である。
	○	版画教室の開催
		生涯学習推進課
	取組	●アーティスト・イン・レジデンス事業の招へい者が、五日市児童館において小学生を対象とした版画ワークショップを実施し、芸術家との交流の機会を提供した。(参加児童15人)
	課題	児童館や小学校等において、版画ワークショップを継続して実施できるよう調整を行うとともに、定期的に版画教室を開催できるよう関係機関との調整を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4 あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明	郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
	(2) 芸術文化活動の振興
事業名	42 秋川キララホール事業の充実
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	指定管理者と連携して、市民が気軽に音楽等に触れる機会を提供し、音楽によるまちづくりを図ります。
内容	☐ 主催事業の充実 ☐ 共同事業の実施
令和7年度における取組状況及び課題	☐ 主催事業の充実 生涯学習推進課
	取組 ●指定管理者との年度協定に基づき、各種主催事業を実施した。 ●毎月の指定管理者との定例会において、主催事業の実施内容及び実績報告について情報を共有した。
	課題 指定管理者による主催事業の充実に向け、継続して指定管理者との連携を進める必要がある。
	☐ 共同事業の実施 生涯学習推進課
	取組 ●親子鑑賞会及び音楽の祭典について、指定管理者と共同で実施した。
	課題 市民のニーズを把握すること、指定管理者との連携及び情報共有を図ることが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4	あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明	郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。	
	(2)	芸術文化活動の振興
事業名	43	芸術文化振興及び学習機会の充実
重点事業		
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的	市民の公民館活動の支援を積極的に行うとともに、音楽、演劇、舞踊など、芸術鑑賞の機会の提供を図り、市民の芸術文化に対する関心を高め、活動支援の充実に努めます。	
内容	○ 市民団体の芸術文化活動の支援	
令和7年度における取組状況及び課題	○	市民団体の芸術文化活動の支援
		生涯学習推進課
	取組	●市民文化祭を開催し、社会教育関係団体等が日頃の活動成果を発表し、市民文化の交流と振興を図ることを目的として実施した。
	課題	各団体とも高齢化等による会員の減少や団体の解散等がコロナ禍を契機に進行する中、市民文化祭に参加する団体が増えるよう、日頃からの団体の支援・育成を通して、市民団体の文化活動の活性化を支援する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	4	あきる野市の自然・文化・地域性を生かした学習の充実
施策の説明		郷土について学ぶことは、学習者の好奇心を満たすだけでなく、地域に愛着を持つことにつながります。地域とのつながりが希薄化している現代においては、地域に愛着を持ってもらい、地域コミュニティを育むことが重要です。 「あきる野愛」を育むため、市が誇る自然・文化・地域性を保存・継承し、普及啓発に努めるほか、市民が学習できるよう情報提供等の支援をしていきます。また、美術や音楽等の芸術文化についても振興に努めます。
	(2)	芸術文化活動の振興
事業名	44	市内在住芸術家の発表機会の充実
重点事業		
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的		市内在住の芸術家に作品発表の機会を提供することにより、市民の芸術鑑賞機会の増幅と芸術文化の向上を図ります。
内容		○ 絵画展・写真展等の公募作品展の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○	絵画展・写真展等の公募作品展の実施
		生涯学習推進課
	取組	●市内で活動する絵画団体で組織する実行委員会との協働で、令和元年度以降7年ぶりに第8回あきる野市絵画展を実施することができた。また、全作品を掲載した入賞・入選作品展目録を作成した。
	課題	応募者を増やすための周知を図る必要がある。また、受賞作品の活用場の充実を図る必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	5 図書館資料の円滑な提供
施策の説明	学習に必要な資料の収集・保管・情報提供については、図書館の役割が非常に重要です。特に、地域の公立図書館には、その地域の郷土資料等を収集・提供する責務があり、あきる野市の地域文化の創造に関わる場となっています。 生涯学習活動に当たって、市民が必要な資料を適切に得ることができるよう、図書館における資料提供機能の向上に努めます。
事業名	45 図書館資料提供事業の推進
重点事業	○
新規事業	
担当課	図書館
目的	市民の教養、調査、研究、レクリエーション等に資するため、市民の求めに応じて、図書、逐次刊行物、視聴覚資料等の図書館資料及び情報を提供します。 市内に所蔵のない図書資料については、都立図書館や都内市区町村立図書館との相互貸借により提供するほか、国会図書館や他県、さらに大学図書館などの相互貸借の調査を行い、提供に努めます。 また、オンラインデータベースをはじめインターネット上にある様々な情報が得られるよう取り組みます。
内容	○ 資料・情報提供の充実 ○ 相互貸借事業の実施 ○ 国会図書館等資料調査事業の実施 ○ インターネットを活用した情報提供体制の推進
令和7年度における取組状況及び課題	○ 資料・情報提供の充実
	図書館
	取組 ●蔵書構成に配慮した収集に努め、所蔵資料の予約や未所蔵資料のリクエストに対応し、利用者の求めに応じた資料、情報の提供を行った。
	課題 さらなる資料の充実を図る必要がある。
	○ 相互貸借事業の実施
	図書館
	取組 ●都立、他区市町村立図書館の所蔵調査を実施し、資料・情報の提供をした(3,784冊)。
	課題 迅速に資料・情報を提供できるようにする。
	○ 国会図書館等資料調査事業の実施
	図書館
	取組 ●国会図書館及び他県の図書館等の所蔵調査を実施し、資料・情報の提供をした(31冊)。
	課題 迅速に資料・情報を提供できるようにする。
	○ インターネットを活用した情報提供体制の推進
	図書館
	取組 ●全館でインターネット情報端末を提供し、情報検索機は3,932件の利用があった。オンラインデータベースについては国会図書館デジタル化資料送信サービス利用も含め、27件の利用があった。
	課題 さらなる利用拡大のため周知が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	5	図書館資料の円滑な提供
施策の説明	学習に必要な資料の収集・保管・情報提供については、図書館の役割が非常に重要です。特に、地域の公立図書館には、その地域の郷土資料等を収集・提供する責務があり、あきる野市の地域文化の創造に関わる場となっています。 生涯学習活動に当たって、市民が必要な資料を適切に得ることができるよう、図書館における資料提供機能の向上に努めます。	
事業名	46	図書館の広域的連携の推進
重点事業		
新規事業		
担当課	図書館	
目的	市民が利用できる図書・資料の増加と専門性の向上を図るため、近隣の市町村図書館や大学図書館等との広域的連携を推進します。	
内容	○ 近隣の市町村図書館や大学図書館などとの広域的連携の実施	
令和7年度における取組状況及び課題	○	近隣の市町村図書館や大学図書館などとの広域的連携の実施
		図書館
	取組	●近隣の市町村図書館の相互利用事業を実施した。連携市町村の住民の利用者による貸出冊数は合計90,302冊であった。 ●西多摩広域図書館連携では、広域利用周知用カードケースを作成し、PRに努めた。
	課題	連携市町村とともに継続した周知活動が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	6	誰もが生涯学習に参加できる場づくり
施策の説明	「人生100年時代」を見据え、行政は、年齢や障害の有無、家族構成等に関わらず、誰もが生涯学習に参加でき、生涯学び続けることができる環境づくりに取り組んでいく必要があります。様々な立場の市民が、講座等に参加しやすくなるよう努めるほか、それを支援するボランティアの育成に努めていきます。 特に、現代は年齢を重ねても健康で精力的に活動される高齢の方が多くことから、年齢を超えた「超齢学習」の観点を踏まえて施策を推進します。	
事業名	47	高齢者の学習機会の充実
重点事業	○	
新規事業		
担当課	高齢者支援課・生涯学習推進課	
目的	寿大学等高齢者向け講座の充実を図るほか、高齢者が集える場所を設け、高齢者の学習機会の充実を図るとともに、介護予防リーダーの活動及び認知症カフェの運営を支援します。	
内容	○ 高齢者向け講座内容の充実	
	○ 高齢者在宅サービスセンター等の高齢者が集い学習活動を行える場づくり	
令和7年度における取組状況及び課題	○	高齢者向け講座内容の充実
		生涯学習推進課
	取組	●市内の60歳以上の方を対象とした寿大学を秋川校・五日市校の両校ともに、開講式・閉講式及び文学・歴史・科学・芸術・健康生活・一般教養などの講義講座を全20回実施し、高齢者の知識の向上、社会参加、相互交流を図った。 ●寿大学の登録者は、秋川校705人、五日市校142人で計847人、行事講座を含めた参加人数は秋川校延べ9,292人、五日市校延べ1,895人であった。 ●秋川校、五日市校で「寿だより」を発行し、学習内容の共有化と受講生同士の交流を図り、学習意欲を向上させる取組を行った。
	課題	コロナ禍で減少した寿大学の受講者も、町内会・自治会等への周知活動を通して、新規受講者が増加し、回復傾向にある。さらに高齢者の学びの機会を増やすため、受講者が増加するように引き続き周知を行う。
	○	高齢者向け講座内容の充実
		高齢者支援課
	取組	●介護予防リーダー育成事業については、全12回の講座を実施し、5人の参加があった。 ●認知症カフェの立ち上げの支援を行い、普及啓発に努めた。
	課題	新規参加者の増加に努めるだけでなく、講座参加後にも適宜、関連する事業等の情報提供等を行う必要がある。
	○	高齢者在宅サービスセンター等の高齢者が集い学習活動を行える場づくり
		高齢者支援課
	取組	●高齢者在宅サービスセンターの高齢者生きがい活動支援通所事業を実施し、延べ利用者が9,133人であった。
	課題	活動内容の充実を図るだけでなく、対象者の状態にあった活動内容の提供や紹介等も合わせて行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	6 誰もが生涯学習に参加できる場づくり
施策の説明	「人生100年時代」を見据え、行政は、年齢や障害の有無、家族構成等に関わらず、誰もが生涯学習に参加でき、生涯学び続けることができる環境づくりに取り組んでいく必要があります。様々な立場の市民が、講座等に参加しやすくなるよう努めるほか、それを支援するボランティアの育成に努めていきます。 特に、現代は年齢を重ねても健康で精力的に活動される高齢の方が多くことから、年齢を超えた「超齢学習」の観点を踏まえて施策を推進します。
事業名	48 障がい者の学習機会の充実
重点事業	○
新規事業	
担当課	福祉総務課(社会福祉協議会)・障がい者支援課・図書館・生涯学習推進課
目的	障がい者に向けた講座等の充実や、手話通訳の派遣・移動支援により、障がい者の生涯学習への参加を推進するほか、点字版や音訳版の学習情報を作成し、学習に関する情報提供に努めます。また、社会福祉協議会が実施する手話通訳、点字通訳、音訳等のボランティア育成の充実を支援し、障がい者の学習活動のサポート体制を強化します。
内容	○ 障がい者向け講座の充実 ○ 手話通訳の派遣・移動支援 ○ 点字・音訳による情報提供 ○ 音訳等のボランティア養成事業の実施
令和7年度における取組状況及び課題	○ 障がい者向け講座の充実
	障がい者支援課
	取組 ●あきる野学園の生徒を対象とした障害福祉サービス等の説明会の開催及び庁内案内を行った。 ●東京都の協力の下、視覚障がい者向けスマートフォン教室を実施した。
	課題 継続した学習機会を提供する必要がある。
	○ 障がい者向け講座の充実
	生涯学習推進課
	取組 ●市民企画講座において、障がい者向けの講座を2回実施した。
	課題 多文化共生社会づくりをめざして継続した学習機会を提供する必要がある。
	○ 手話通訳の派遣・移動支援
	障がい者支援課
	取組 ●産業祭及び二十歳を祝う会等市内行事への手話通訳者の派遣を行った。 ●障がい者の社会参加等を促進するため、移動支援事業を実施した。
	課題 派遣手話通訳者を確保する必要がある。
	○ 点字・音訳による情報提供
	図書館
	取組 ●音訳ボランティアの協力を得て、「郷土あれこれ」及び「今週の本棚(毎日新聞書評)」のDAISY版を製作した。
	課題 継続して製作できる環境を整備するために、新規ボランティアの獲得や育成が必要である。

	○	音訳等のボランティア養成事業の実施
		福祉総務課(社会福祉協議会)
	取組	●音訳ボランティア養成講座の開催を検討し、令和8年度に実施予定である。
	課題	音訳ボランティアの認知度向上を図り、講座の受講者を確保する必要がある。
	○	音訳等のボランティア養成事業の実施
		図書館
	取組	●音訳ボランティアの新規獲得及び初級者の育成を図るため、「初級音訳者講習会」を実施した。
	課題	新規ボランティアの育成ができるように、引き続き音訳者講習会を実施する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I 学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	6 誰もが生涯学習に参加できる場づくり
施策の説明	「人生100年時代」を見据え、行政は、年齢や障害の有無、家族構成等に関わらず、誰もが生涯学習に参加でき、生涯学び続けることができる環境づくりに取り組んでいく必要があります。様々な立場の市民が、講座等に参加しやすくなるよう努めるほか、それを支援するボランティアの育成に努めていきます。 特に、現代は年齢を重ねても健康で精力的に活動される高齢の方が多いことから、年齢を超えた「超齢学習」の観点を踏まえて施策を推進します。
事業名	49 誰もが使いやすい図書館づくり
重点事業	
新規事業	
担当課	図書館
目的	視覚障害などで通常の方法では読書が困難な方や、図書館に来館することができない方に対し、対面朗読や録音資料の製作、郵送サービスなどを行い、図書館サービスの向上を図ります。
内容	○ 対面朗読の実施 ○ 視覚障がい者向け資料の製作、郵送 ○ 機材貸出等のサービスを実施 ○ 新聞書評・地域資料のDAISY化 ○ 郵送・宅配サービスの実施
令和7年度における取組状況及び課題	○ 対面朗読の実施
	図書館
	取組 ●希望に応じて実施しているが、要望がなかった。
	課題 対象者の利用を促す効果的な周知方法を検討する必要がある。
	○ 視覚障がい者向け資料の製作、郵送
	図書館
	取組 ●希望に応じて録音資料等の提供を実施し、DAISY資料の貸出しについては26タイトル利用があった。 ●DAISY資料(「今週の本棚」(毎日新聞書評))の配布については、個人6人・72点、他館2館・24点を配布した。
	課題 引き続き未所蔵の資料も全国の図書館から借用または新たに製作し、対象者から要望があった資料の提供に努める。
	○ 機材貸出等のサービスを実施
	図書館
	取組 ●新たにDAISY再生機(プレクストークPTR3)を購入し、希望に応じてDAISY再生機等の機材の貸出しを実施しているが、今年度は利用がなかった。
	課題 DAISY再生機等の機材の貸出しについて広く周知し、利用者を増やす。
	○ 新聞書評・地域資料のDAISY化
	図書館
	取組 ●音訳ボランティアの協力を得て、「郷土あれこれ」及び「今週の本棚」(毎日新聞書評)のDAISY版を製作した。
	課題 継続して製作できる環境を整備するために、新規ボランティアの獲得及び育成が必要である。

	○	郵送・宅配サービスの実施
		図書館
	取組	●来館が困難な利用者の求めに対し、8件8冊の郵送と32件150冊の宅配を実施した。
	課題	引き続き、来館が困難な利用者に対しサービスを実施することにより、図書館サービスの向上を図る必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	6	誰もが生涯学習に参加できる場づくり
施策の説明	「人生100年時代」を見据え、行政は、年齢や障害の有無、家族構成等に関わらず、誰もが生涯学習に参加でき、生涯学び続けることができる環境づくりに取り組んでいく必要があります。様々な立場の市民が、講座等に参加しやすくなるよう努めるほか、それを支援するボランティアの育成に努めていきます。 特に、現代は年齢を重ねても健康で精力的に活動される高齢の方が多くことから、年齢を超えた「超齢学習」の観点を踏まえて施策を推進します。	
事業名	50	青年学級活動に対する支援の充実
重点事業		
新規事業		
担当課	生涯学習推進課	
目的	心身にハンディキャップを持つ青年の仲間づくりと社会参加を目的に活動する青年学級活動団体に対する助成と支援ボランティアの育成を図ります。	
内容	○ 活動経費の補助、ボランティアの育成支援	
令和7年度における取組状況及び課題	○	活動経費の補助、ボランティアの育成支援
		生涯学習推進課
	取組	● 青年学級活動団体へ補助金を交付し、活動の支援を行った。
	課題	引き続き、補助金交付を適正に執行し、規定に基づき補助金交付ができるよう当該団体へ支援することが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	7	生涯学習理解・啓発事業の充実
施策の説明	生涯学習社会の実現のためには、学習環境を整備するだけでなく、生涯学習に興味を持っていただき、生涯を通じて学ぶ・学び続けることの重要性を理解し、学習に参加していただくなくてはなりません。市民の皆さんに生涯学習への関心を深め、生涯学習の推進に参加していただけるよう理解・啓発事業を実施します。	
事業名	51	生涯学習シンポジウムの開催
重点事業	○	
新規事業		
担当課	生涯学習推進課	
目的	生涯学習コーディネーターの会と協働し、生涯学習を推進するため、講演会や意見交換等を内容としたシンポジウムを開催します。	
内容	○ 生涯学習シンポジウムの開催	
令和7年度における取組状況及び課題	○	生涯学習シンポジウムの開催
		生涯学習推進課
	取組	●生涯学習コーディネーターの会との協働により「第17回あきる野市生涯学習シンポジウム」を開催し、基調講演およびパネルディスカッションを実施した。参加者数は80人であった。
	課題	市民がより身近に感じられるテーマ設定や意見交換の手法を工夫し、参加層の拡大を図ることが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	I	学びをつむぐ～学習の充実・生涯学習の振興～
施策	7	生涯学習理解・啓発事業の充実
施策の説明	生涯学習社会の実現のためには、学習環境を整備するだけではなく、生涯学習に興味を持っていただき、生涯を通じて学ぶ・学び続けることの重要性を理解し、学習に参加していただくなくてはなりません。市民の皆さんに生涯学習への関心を深め、生涯学習の推進に参加していただけるよう理解・啓発事業を実施します。	
事業名	52	公民館情報誌の発行及び配布
重点事業		
新規事業		○
担当課		生涯学習推進課
目的	公民館情報誌「月刊のらぼう」の発行・配布を通して、公民館の紹介や公民館で行われる講座等を市民に周知し、生涯学習への参画を勧奨します。	
内容	○ 「月刊のらぼう」の発行及び配布	
令和7年度における取組状況及び課題	○	「月刊のらぼう」の発行及び配布
		生涯学習推進課
	取組	● 公民館情報誌「月刊のらぼう」を12回発行し、配布をした。
	課題	引き続き、公民館の講座等の情報を継続して周知する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	Ⅱ	学びをひろげる ～生涯学習推進体制の整備～
施策	1	生涯学習を推進する体制の整備
施策の説明	生涯を通じた生涯学習の推進には、生涯学習担当課のみならず、教育委員会や市長部局の枠組みを超えた連携が必要です。行政全体で生涯学習を推進する体制を構築するため、生涯学習推進本部を運営します。 また、市民に主体的に生涯学習に参加していただくため、市民会議を開催するほか、市民組織と連携を図り、市民と協働で生涯学習を推進します。	
事業名	53	生涯学習推進本部の運営
重点事業		
新規事業		
担当課	生涯学習推進課	
目的	生涯学習関係施策の総合調整等に関し協議を行い、生涯学習に関する施策の総合的推進を図ります。	
内容	○ 生涯学習推進本部の開催	
令和7年度における取組状況及び課題	○	生涯学習推進本部の開催
		生涯学習推進課
	取組	●次期改定に向け、令和8年度に総合調整等に関し協議を行えるよう情報収集に取り組んだ。
	課題	市民の生涯学習を推進するため、次期計画策定時には、市民の生涯学習を推進するため、より詳細な市民ニーズの把握と行政全体の推進体制の構築が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	Ⅱ	学びをひろげる ～生涯学習推進体制の整備～
施策	1	生涯学習を推進する体制の整備
施策の説明	生涯を通じた生涯学習の推進には、生涯学習担当課のみならず、教育委員会や市長部局の枠組みを超えた連携が必要です。行政全体で生涯学習を推進する体制を構築するため、生涯学習推進本部を運営します。 また、市民に主体的に生涯学習に参加していただくため、市民会議を開催するほか、市民組織と連携を図り、市民と協働で生涯学習を推進します。	
事業名	54	生涯学習推進市民会議の運営
重点事業	○	
新規事業		
担当課	生涯学習推進課	
目的	生涯学習推進市民会議を随時開催し、生涯学習施策の進捗状況について意見を求めるなど、市民とともに生涯学習の推進を図ります。	
内容	○ 市民会議の開催	
令和7年度における取組状況及び課題	○	市民会議の開催
		生涯学習推進課
	取組	●令和4年度から開始年度となる「生涯学習推進計画(あきる野学びプラン4)」の進捗状況調査に当たり、調査シートを刷新した上で各担当課へ調査を実施し、取りまとめた進捗状況について報告を行い、評価を受けた。
	課題	市民会議の評価や意見を各課へ確実にフィードバックし、事業改善や次期計画改定に反映させることが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	Ⅱ 学びをひろげる ～生涯学習推進体制の整備～
施策	1 生涯学習を推進する体制の整備
施策の説明	生涯を通じた生涯学習の推進には、生涯学習担当課のみならず、教育委員会や市長部局の枠組みを超えた連携が必要です。行政全体で生涯学習を推進する体制を構築するため、生涯学習推進本部を運営します。 また、市民に主体的に生涯学習に参加していただくため、市民会議を開催するほか、市民組織と連携を図り、市民と協働で生涯学習を推進します。
事業名	55 学習拠点運営体制の整備の推進
重点事業	
新規事業	
担当課	社会教育施設所管課(スポーツ推進課、図書館、生涯学習推進課)
目的	生涯学習を推進するため、中央公民館を市民の学習拠点として位置づけ、中央公民館を学習拠点とする各施設のネットワーク化を推進し、活動の充実と地域の特色を生かした、利用しやすい運営体制を整備します。
内容	○ 学習拠点としての中央公民館の整備 ○ ネットワーク化の推進
令和7年度における取組状況及び課題	○ 学習拠点としての中央公民館の整備
	生涯学習推進課
	取組 ●秋川体育館管理業務の主管課であるスポーツ推進課との密接な連携の下、指定管理者とより良い関係を築き、公民館の適正な管理運営を行った。
	課題 学習拠点として市民に活動の場を提供するため、継続的に市民が活動しやすい環境を整備する必要がある。
	○ ネットワーク化の推進
	図書館
	取組 ●図書館の機能を活かし、市民が抱える様々な課題解決を行うことにより、生涯学習の基幹的な施設としての役割を果たした。また、他の各施設と連携し、情報を共有した。
	課題 継続して各施設と連携し情報収集するとともに、市民への図書館機能の周知活動が必要である。
	○ ネットワーク化の推進
	生涯学習推進課
	取組 ●各施設における団体の活動状況の情報収集を行い、市民の学習相談に対して情報提供を行うとともに、各施設と情報共有を行った。
	課題 継続的に各施設からの情報収集と情報共有を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	Ⅱ 学びをひろげる ～生涯学習推進体制の整備～
施策	1 生涯学習を推進する体制の整備
施策の説明	生涯を通じた生涯学習の推進には、生涯学習担当課のみならず、教育委員会や市長部局の枠組みを超えた連携が必要です。行政全体で生涯学習を推進する体制を構築するため、生涯学習推進本部を運営します。 また、市民に主体的に生涯学習に参加していただくため、市民会議を開催するほか、市民組織と連携を図り、市民と協働で生涯学習を推進します。
事業名	56 学習相談の実施
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	市民の多様な学習ニーズに対応するため、公民館窓口における学習相談を実施します。また、市民自らが積極的・自主的に多彩な生涯学習を实践できるよう、組織づくりに関する相談支援を行います。
内容	☐ 学習情報の収集及び提供 ☐ 学習相談の実施 ☐ 組織づくりに関する相談支援
令和7年度における取組状況及び課題	☐ 学習情報の収集及び提供 生涯学習推進課
	取組 ●市民の多様な学習ニーズに対応するため、公共施設を利用する社会教育活動を行う団体等の情報収集及び窓口等における学習情報の提供を行った。
	課題 継続的に学習情報を収集し、提供する必要がある。
	☐ 学習相談の実施 生涯学習推進課
	取組 ●収集した情報をもとに、サークル活動の紹介など学習相談を実施した。
	課題 市民の多様な学習ニーズに対応するため、継続して学習相談を行う必要がある。
	☐ 組織づくりに関する相談支援 生涯学習推進課
	取組 ●サークルや社会教育関係団体等の組織づくりに関して、助言する等の相談支援を行った。
	課題 会員の減少等、会の運営に不安を持つ団体がある。今後も団体の組織づくりに関する相談や支援を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	Ⅲ 学びを伝える ～生涯学習情報の提供～
施策	1 生涯学習に関する情報提供の充実
施策の説明	生涯学習を推進するためには、まず市民に参加してもらわなければいけません。市民が自らの希望に応じた講座等を探し、参加できるよう、様々な媒体を用いて広報活動を行います。また、生涯学習の実施の際に必要な情報を円滑に提供していきます。
事業名	57 講座等に関する情報提供
重点事業	○
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	市ホームページや広報あきる野等を用いて、学習情報を市民に提供します。
内容	○ 市ホームページへの掲載 ○ 広報あきる野への掲載
令和7年度における取組状況及び課題	○ 市ホームページへの掲載
	生涯学習推進課
	取組 ● 公民館事業の講座情報等を市ホームページに掲載し、公民館の学習情報を逐次市民に提供した。
	課題 継続して市ホームページへの公民館事業の講座情報等の掲載を行い、公民館の学習情報を市民に提供する必要がある。
	○ 広報あきる野への掲載
	生涯学習推進課
	取組 ● あきる野ルピア、秋川キララホール及び中央公民館で開催する市民企画講座や市民ふれあい塾等の情報を広報あきる野に掲載し、学習情報を市民に提供した。
	課題 市民のニーズを把握し、市民の学習機会が増えるよう、有用な情報を掲載することに課題がある。 また、紙面の制約による情報量の限界があることから、デジタル媒体との連携が課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	Ⅲ 学びを伝える ～生涯学習情報の提供～
施策	1 生涯学習に関する情報提供の充実
施策の説明	生涯学習を推進するためには、まず市民に参加してもらわなければいけません。市民が自らの希望に応じた講座等を探し、参加できるよう、様々な媒体を用いて広報活動を行います。また、生涯学習の実施の際に必要な情報を円滑に提供していきます。
事業名	58 図書館レファレンス事業の充実
重点事業	
新規事業	
担当課	図書館
目的	市民が学習、研究、調査等のために必要な資料及び情報を効率的に得られるよう支援するレファレンスサービスを充実するとともに、職員の技術向上を図ります。
内容	○ レファレンスサービスの周知 ○ レファレンス(参考図書等)の充実 ○ 調べものを援助する情報や資料の提供 ○ レファレンス研修への職員派遣
令和7年度における取組状況及び課題	○ レファレンスサービスの周知
	図書館
	取組 ● 調査を希望する利用者に対し、レファレンスカウンターへ案内を行った。 ● 各図書館で閲覧可能なデータベース一覧を館内に掲示した。
	課題 調査を希望する利用者への案内の徹底及びレファレンスサービスの周知方法について、引き続き検討する。
	○ レファレンス(参考図書等)の充実
	図書館
	取組 ● 参考資料を218点受け入れた。 ● 商用データベースを5件契約し、館内の端末で提供した。 ● デジタルアーカイブの新聞記事検索データベースに2,110タイトルの記事見出しを追加した。
	課題 利用者の需要を基に、必要な参考図書の購入及びデータベースの契約内容を検討する。
	○ 調べものを援助する情報や資料の提供
	図書館
	取組 ● パスファインダー「医療・健康編」を改訂した。「あきる野ふるさとのはかせ」(子どもレファレンスシート)の「五日市鉄道」を作成した。パスファインダー及び「あきる野ふるさとのはかせ」(子どもレファレンスシート)を随時配布した。 ● 利用者向けのレファレンス講座「図書館ホームページを使いこなそう！」(2人参加)と「はじめての医療・健康情報の調べ方」(4人参加)を実施した。
	課題 情報資料の更新に対応するため、図書館で発行しているレファレンスシートの内容を引き続き点検する必要がある。
	○ レファレンス研修への職員派遣
	図書館
	取組 ● 東京都立図書館で行われるレファレンス研修に職員が積極的に参加した。
	課題 職員の技術向上のため、引き続き職員の積極的な参加を促す必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	Ⅳ 学びの環境をつくる ～生涯学習関連施設の整備と充実～
施策	1 市民の利用しやすい施設運営
施策の説明	資料の収集、活動の実施、文化の創造など、生涯学習関連施設は、学習の場でもあり、学習成果の発表や仲間集めの場でもあります。 そのような施設が多くの市民に利用され、親しまれるよう、適切な管理に努めるとともに施設・設備の充実を図ります。
事業名	59 図書館施設・設備・サービスの充実
重点事業	
新規事業	
担当課	図書館
目的	施設の適切な維持管理を行うほか、市民が利用しやすい図書館を目指し、IT技術を活用したサービスなど、利便性を高める設備の導入を検討します。また、いつでも、どこでも、だれもが求める情報を手に入れられるよう、図書館から遠い地域にお住まいの市民へのサービス提供について検討します。
内容	○ 施設・設備の適正な維持管理 ○ IT技術を活用した情報提供と情報発信の充実 ○ 予約資料提供拠点・方法の検討 ○ 返却ポスト設置場所の再検討
令和7年度における取組状況及び課題	○ 施設・設備の適正な維持管理
	図書館
	取組
	●継続して施設や設備機器等の適正な維持管理に努め、日常点検等により劣化箇所を早期に発見し、迅速に補修、修繕等を実施するよう取り組んだ。 ●中央図書館では、遮煙用シートシャッター及び、電動ブラインド等の修繕を実施した。
	課題
	各館で、経年による劣化から故障、破損等が発生しているため、計画的な修繕を行う必要がある。
	○ IT技術を活用した情報提供と情報発信の充実
	図書館
	取組
	●継続して図書館システムの適正な維持管理に努め、図書館ホームページにて行事及びお知らせ等について発信を行った。 ●利用者用情報検索機器のうち、中央図書館及び東部図書館に設置したWi-Fiの利用は1,818件であった。
	課題
	さらに利用しやすいWi-Fi環境を提供できるよう検討していく必要がある。
令和7年度における取組状況及び課題	○ 予約資料提供拠点・方法の検討
	図書館
	取組
	●来館困難者へのサービス拡充の取組として、宅配等による予約本の貸出サービスを継続して実施した。
	課題
	引き続き検討していく必要がある。
	○ 返却ポスト設置場所の再検討
	図書館
	取組
	●武蔵引田駅周辺のみ返却ポストが設置されていないため、武蔵引田駅北口土地区画整理事業に伴い、区画整理推進室と調整し、北口駅前広場に「返す本のポスト」を新設した。
	課題
	適正な管理を実施していく。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	IV	学びの環境をつくる ～生涯学習関連施設の整備と充実～
施策	1	市民の利用しやすい施設運営
施策の説明		資料の収集、活動の実施、文化の創造など、生涯学習関連施設は、学習の場でもあり、学習成果の発表や仲間集めの場でもあります。 そのような施設が多くの市民に利用され、親しまれるよう、適切な管理に努めるとともに施設・設備の充実を図ります。
事業名	60	中央公民館の適切な維持管理
重点事業		
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的		指定管理者による中央公民館の施設、設備の適正な維持管理を進めるとともに、生涯学習の拠点として中央公民館を適切に管理します。
内容		○ 施設の適切な管理
令和7年度における取組状況及び課題	○	施設の適切な管理
		生涯学習推進課
	取組	●秋川体育館管理業務の主管課であるスポーツ推進課との密接な連携の下、指定管理者とより良い関係を築き、公民館の適正な管理運営を行った。 ●別館屋上の雨漏り修繕を行った。
	課題	指定管理者と連携を密にしながら、継続して適正な施設管理を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	IV	学びの環境をつくる ～生涯学習関連施設の整備と充実～
施策	1	市民の利用しやすい施設運営
施策の説明		資料の収集、活動の実施、文化の創造など、生涯学習関連施設は、学習の場でもあり、学習成果の発表や仲間集めの場でもあります。 そのような施設が多く市民に利用され、親しまれるよう、適切な管理に努めるとともに施設・設備の充実を図ります。
事業名	61	スポーツ施設の適切な維持管理
重点事業		
新規事業		
担当課		スポーツ推進課
目的		スポーツ施設の改良・改修・整備を進め、市民の生涯スポーツの拠点となるスポーツ施設を適切に管理します。
内容		○ 施設の適切な管理
令和7年度における取組状況及び課題	○	施設の適切な管理
		スポーツ推進課
	取組	●五日市ファインプラザは、プール暖房用のラインポンプ取替修繕を実施し、不具合の改善を行った。 ●市民プールは、高圧ケーブルほか改修工事、第二変電所幹線改修工事やプール底面塗装修繕を行った。 ●その他の施設においては、管理人や職員による点検を行い、不具合が見つかった箇所について修繕を実施し、維持管理に努めた。
	課題	各施設において設備の老朽化が著しく、不具合が頻繁に発生している状況である。指定管理施設については、指定管理者と連携を図り、不具合箇所を早期に発見し、公共施設等総合管理計画の改定を踏まえ、施設の維持管理を進める必要がある。その他の施設については、管理人と連携を図り、不具合箇所については、早急に現場を確認するとともに、計画的に修繕等の対応を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	Ⅳ 学びの環境をつくる ～生涯学習関連施設の整備と充実～	
施策	1 市民の利用しやすい施設運営	
施策の説明	資料の収集、活動の実施、文化の創造など、生涯学習関連施設は、学習の場でもあり、学習成果の発表や仲間集めの場でもあります。 そのような施設が多くの市民に利用され、親しまれるよう、適切な管理に努めるとともに施設・設備の充実を図ります。	
事業名	62 五日市郷土館・二宮考古館の適切な維持管理	
重点事業		
新規事業		
担当課	生涯学習推進課	
目的	収蔵資料を含め、施設・設備の老朽化等に応じて適切に管理します。	
内容	○ 施設の適切な管理	
令和7年度における取組状況及び課題	○	施設の適切な管理
		生涯学習推進課
	取組	●収蔵資料の保存のために、館内の燻蒸消毒を行った。 ●敷地内の樹木の剪定を行った。
	課題	不具合箇所の早期発見に努めるなど、施設の老朽化に対して、適切な維持管理や計画的な修繕が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	IV 学びの環境をつくる ～生涯学習関連施設の整備と充実～
施策	1 市民の利用しやすい施設運営
施策の説明	資料の収集、活動の実施、文化の創造など、生涯学習関連施設は、学習の場でもあり、学習成果の発表や仲間集めの場でもあります。 そのような施設が多くの市民に利用され、親しまれるよう、適切な管理に努めるとともに施設・設備の充実を図ります。
事業名	63 あきる野ルピアの適切な維持管理
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	指定管理者による施設・設備の適正な運用の指導を進めるとともに、あきる野ルピアを適切に管理します。
内容	○ 施設の適正な運用の指導 ○ 施設の適切な管理
令和7年度における取組状況及び課題	○ 施設の適正な運用の指導
	生涯学習推進課
	取組
	●利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者アンケートを実施し、改善に努めている。 ●毎月の指定管理者との定例会議において報告される業務報告に対して、必要に応じて指導・助言を行った。 ●経年劣化により老朽化したルピアホールのカーペットの張替を行った。
	課題
	指定管理者との連絡を密に行い、利用者から要望等があった際に、迅速に対応できるようにしつつ、多くの市民に親しまれるよう、引き続き改善に努めていくことが課題である。
	○ 施設の適切な管理
	生涯学習推進課
	取組
	●市の個別施設計画に基づく点検作業及び指定管理者からの不具合対応シートによる報告を通じた施設管理を行った。
	課題
	個別施設計画に基づき、点検を行うとともに指定管理者からの報告を受け、修繕等の対応を行うことが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	Ⅳ 学びの環境をつくる ～生涯学習関連施設の整備と充実～
施策	1 市民の利用しやすい施設運営
施策の説明	資料の収集、活動の実施、文化の創造など、生涯学習関連施設は、学習の場でもあり、学習成果の発表や仲間集めの場でもあります。 そのような施設が多くの市民に利用され、親しまれるよう、適切な管理に努めるとともに施設・設備の充実を図ります。
事業名	64 秋川キララホールの適切な維持管理
重点事業	
新規事業	○
担当課	生涯学習推進課
目的	指定管理者による施設・設備の適正な運用の指導を進めるとともに、秋川キララホールを適切に管理します。
内容	○ 施設の適正な運用の指導 ○ 施設の適切な管理
令和7年度における取組状況及び課題	○ 施設の適正な運用の指導
	生涯学習推進課
	取組
	●指定管理者が、主催者、来場者にアンケート調査を実施し、改善に努めている。 ●毎月の指定管理者との定例会議において報告される業務報告に対して、必要に応じて指導・助言を行った。
	課題
	指定管理者との連絡を密に行い、利用者から要望等があった際に、迅速に対応できるようにしつつ、多くの市民に親しまれるよう、引き続き改善に努めていくことが課題である。
	○ 施設の適切な管理
	生涯学習推進課
	取組
	●市の個別施設計画に基づく点検作業及び指定管理者からの不具合対応シートによる報告を通じた施設管理を行った。 ●経年劣化により老朽化した舞台機構等の設備の修繕工事を行った。
	課題
	開館から30年以上経過した施設のため、適切な維持管理を進めつつ、公共施設再編計画の中で大規模改修について検討を進めることが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	IV	学びの環境をつくる ～生涯学習関連施設の整備と充実～
施策	1	市民の利用しやすい施設運営
施策の説明		資料の収集、活動の実施、文化の創造など、生涯学習関連施設は、学習の場でもあり、学習成果の発表や仲間集めの場でもあります。 そのような施設が多くの市民に利用され、親しまれるよう、適切な管理に努めるとともに施設・設備の充実を図ります。
事業名	65	公共施設予約・案内システムの運用
重点事業		
新規事業		
担当課		スポーツ推進課
目的		公共施設予約・案内システムの運用により、施設の利用促進を図ります。
内容		○ 施設利用案内システムの継続運用
令和7年度における取組状況及び課題	○	施設利用案内システムの継続運用
		スポーツ推進課
	取組	●システム運用会社に委託し、プログラム等の軽微な修正を行い、利用団体が公平かつ校正に施設を利用できるよう環境を整えた。
	課題	同システムを運用している市内公共施設の平準化を進めるとともに、オンライン決済などについて検討を進める必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	V	学びをつなぐ ～人材育成の充実～
施策	1	指導者の育成及び支援事業の充実
施策の説明	市民の自主的・主体的な生涯学習を推進するためには、自ら地域課題を考え、講座等を企画・立案するなど、指導的立場に立つことのできる市民が必要です。 そのような市民の育成に努めるほか、支援事業を充実させ、活動を促進します。	
事業名	66	生涯学習に係る指導者養成講座・研修会の開催
重点事業		○
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的	市民と市民をつなぐコーディネーターの養成講座のほか、生涯学習の主体となって活動する生涯学習指導者研修会を開催します。	
内容	○ 生涯学習コーディネーター養成講座の開催 ○ 生涯学習指導者研修会の開催	
令和7年度における取組状況及び課題	○	生涯学習コーディネーター養成講座の開催
		生涯学習推進課
	取組	●生涯学習コーディネーターの会が企画運営する、第21期の生涯学習コーディネーター養成講座を実施し、受講者5人に対し、受講証明書を交付した。
	課題	受講者の伸び悩みが続く中、受講者の持続的な確保と増員のための周知活動が課題である。
	○	生涯学習指導者研修会の開催
		生涯学習推進課
	取組	●生涯学習シンポジウムを広く市民向けの研修と位置づけ、運営を担う生涯学習コーディネーターの会及び一般来場者の双方にとっての研修の機会とした。なお、参加者数は80人であった。
	課題	研修としての具体的な学習効果や意識変化の評価手法が未確立なため、今後はアンケート改善等による効果測定の実施が課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	V	学びをつなぐ ～人材育成の充実～
施策	1	指導者の育成及び支援事業の充実
施策の説明	市民の自主的・主体的な生涯学習を推進するためには、自ら地域課題を考え、講座等を企画・立案するなど、指導的立場に立つことのできる市民が必要です。 そのような市民の育成に努めるほか、支援事業を充実させ、活動を促進します。	
事業名	67	スポーツ指導者の育成・支援
重点事業	○	
新規事業		
担当課	スポーツ推進課	
目的	スポーツ推進委員をはじめ、スポーツ協会加盟の各連盟指導者を育成・支援し、市民のスポーツ活動の活性化を図ります。	
内容	○ 指導者の育成・支援	
令和7年度における取組状況及び課題	○	指導者の育成・支援
		スポーツ推進課
	取組	●西多摩地域広域行政圏スポーツ大会スポーツフェスタに各市町村のスポーツ推進委員が参加し、来場者に対しニュースポーツの体験と種目の指導を行った。 ●第7ブロックスポーツ推進委員研修会に、スポーツ推進委員としての資質向上を高めるために参加した。 ●スポーツの日スポーツフェスティバルにおいて、スポーツ協会加盟団体の15団体から協力を得て、各種目ごとに体験会を実施した。
	課題	コロナ禍によるスポーツ離れやスポーツ協会加盟団体会員の高齢化等により、スポーツ協会会員数は減少している。若年層世代のスポーツ活動や指導者としての資質向上等に関わるための機会の提供が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	V 学びをつなぐ ～人材育成の充実～
施策	1 指導者の育成及び支援事業の充実
施策の説明	市民の自主的・主体的な生涯学習を推進するためには、自ら地域課題を考え、講座等を企画・立案するなど、指導的立場に立つことのできる市民が必要です。 そのような市民の育成に努めるほか、支援事業を充実させ、活動を促進します。
事業名	68 次代を担う青少年の育成事業の充実
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	青少年健全育成活動や国際化を推進する青年団体への支援等を通して、次代を担う青少年の育成事業の充実を図ります。
内容	○ 青少年健全育成団体への活動支援 ○ 国際化を推進する青年団体への支援
令和7年度における取組状況及び課題	○ 青少年健全育成団体への活動支援
	生涯学習推進課
	取組 ●青少年健全育成地区委員会、中学校区健全育成推進会議、五日市小学校PTCA及び青少年顕彰ふるさと委員会へ活動補助金を交付し、活動を支援した。
	課題 各種団体の主体的な活動を支援するため、引き続き、補助金交付を適正に執行することが課題である。
	○ 国際化を推進する青年団体への支援
	生涯学習推進課
	取組 ●あきる野市国際化推進青年の会へ活動補助金を交付し、活動を支援した。
	課題 マールボロウ市との教育交流事業において重要な役割を担う団体であるため、引き続き活動支援を行うことが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	V	学びをつなぐ ～人材育成の充実～
施策	2	市職員研修の充実
施策の説明	職員には、生涯学習の振興に努め、市民が主体となって生涯学習を行えるよう支援する役割が求められています。日々の業務を円滑かつ正確に遂行できるよう、派遣研修やOJT研修を通じて、能力を向上させます。	
事業名	69	あきる野市人材育成基本方針に基づく人材育成の推進
重点事業		
新規事業		
担当課	図書館・生涯学習推進課	
目的	あきる野市人材育成基本方針に基づき、市民と協働のまちづくりを推進し、職員の資質のより一層の向上を図り、その有している可能性・能力を最大限引き出します。	
内容	○ 人材育成事業の実施	
令和7年度における取組状況及び課題	○	人材育成事業の実施
		図書館
	取組	●職場研修では、「『五日市憲法草案』と『深沢家文書』」をテーマに、図書館職員を講師として実施した。
	課題	職員一人一人の可能性をいかに引き出していくことができるかが課題である。
	○	人材育成事業の実施
		生涯学習推進課
	取組	●社会教育行政、文化行政及び青少年行政の連絡会組織等が主催する研修会に参加し、研鑽を図った。 ●三多摩公立博物館協議会主催の加盟館の展示などの取組事例紹介と見学会及び博物館IPM(博物館におけるカビや害虫被害防止の取組)に関する研修会に参加し、専門的な知識の習得に努めた。 ●東京都公民館連絡協議会主催の新任職員研修に参加し、専門的な知識の習得に努めた。
課題	専門性が求められる生涯学習振興に向け、引き続き派遣研修等による職員の資質向上に努める必要がある。また、博物館業務等の専門性を確保するため、学芸員の配置や専門講座へ参加しても通常業務に支障の出ないような人員体制の構築が課題である。	

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI	学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	1	市民が社会参加活動を行う機会の充実
施策の説明		生涯学習は、個人の学習の営みを基本としながら、その学習成果をグループや地域社会に広げることで、社会全体の向上につなげることが重要です。 そのような「知の循環型社会」の実現を目指して、学習者が生涯学習活動によって学んだ内容を地域の活動等に還元する活動を支援します。また、市民同士の積極的な相互協力や市民文化の向上につながるよう、市民の自主的な活動や社会参加活動を支援します。
事業名	70	社会教育関係団体等の活動支援の充実
重点事業		○
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的		市民の生涯学習活動を支援するため、社会教育関係団体が行う事業について、後援等を行います。
内容		○ 社会教育関係団体への助成及び活動支援
令和7年度における取組状況及び課題	○	社会教育関係団体への助成及び活動支援
		生涯学習推進課
	取組	●社会教育関係団体の連絡組織等3団体に補助金の交付を行うとともに、団体が行う事業に対して指導・助言を行うなどの活動支援を行った。 ●社会教育関係団体への登録希望について、随時、社会教育委員の会議で検討し登録を行い、ホームページ等での公開により、市民への情報提供を図った。 ●社会教育委員の会議から提言書の提出があり、各種計画策定の際に参考とすることとした。
	課題	社会教育関係団体の活動を継続していくため、引き続き補助金交付等の財政的支援を行うとともに、会員の高齢化等に伴う会員減少や後継者不足により活動が停滞している団体への継続的な支援が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI 学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	1 市民が社会参加活動を行う機会の充実
施策の説明	生涯学習は、個人の学習の営みを基本としながら、その学習成果をグループや地域社会に広げること、社会全体の向上につなげることが重要です。 そのような「知の循環型社会」の実現を目指して、学習者が生涯学習活動によって学んだ内容を地域の活動等に還元する活動を支援します。また、市民同士の積極的な相互協力や市民文化の向上につながるよう、市民の自主的な活動や社会参加活動を支援します。
事業名	71 図書館ボランティアの育成及び活動の支援
重点事業	
新規事業	
担当課	図書館
目的	各種図書館ボランティアの育成に努めるとともに、活動の場を提供するほか、活動しやすい環境づくりに努めます。また、図書館司書実習希望者を受け入れ、将来の図書館に携わる人材を育成します。
内容	☐ 図書館ボランティアの育成 ☐ 活動の機会と場の提供及び活動支援 ☐ 図書館司書実習の受入れ
令和7年度における取組状況及び課題	☐ 図書館ボランティアの育成 図書館
	取組 ●本棚を整理する整架ボランティアが延べ317人、本の修理をするボランティアが延べ134人活動した。 ●絵本の読み聞かせ講座（初級）を実施した。
	課題 ボランティア間の交流を検討し、円滑に運営していく必要がある。
	☐ 活動の機会と場の提供及び活動支援 図書館
	取組 ●児童サービスボランティアに、図書館内で「おはなし会」、「わらべうたのじかん」、人形劇などが実施できるよう活動の機会と場を提供した。 ●こころの（あきる野ルピア内）や小学校など、図書館外での活動の場も提供した。
	課題 図書館とボランティアとの間で情報共有を確実にできるようにする。
	☐ 図書館司書実習の受入れ 図書館
	取組 ●依頼がなかったため、未実施。
	課題 依頼があった際の受入れ体制を整備する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI 学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	1 市民が社会参加活動を行う機会の充実
施策の説明	生涯学習は、個人の学習の営みを基本としながら、その学習成果をグループや地域社会に広げること、社会全体の向上につなげることが重要です。 そのような「知の循環型社会」の実現を目指して、学習者が生涯学習活動によって学んだ内容を地域の活動等に還元する活動を支援します。また、市民同士の積極的な相互協力や市民文化の向上につながるよう、市民の自主的な活動や社会参加活動を支援します。
事業名	72 学習ボランティアの養成及び活動の支援
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	学習成果等を生かした社会貢献活動に関心のある市民が参加できるよう、市民解説員、ITボランティア等生涯学習ボランティア養成事業を充実させます。
内容	○ 学習ボランティアの育成 ○ 活動の機会と場の提供 ○ 活動の支援
令和7年度における取組状況及び課題	○ 学習ボランティアの育成
	生涯学習推進課
	取組
	●市民解説員養成講座として、市民カレッジ「入門講座」を6科目、各科目4回から5回の講座で計25回を実施し、延べ55人がそれぞれの科目を受講した。 ●各科目ごとに、「市民カレッジ入門講座だより」を発行し、学習内容の共有化と市民解説員や受講生同士の交流を図るなど、学習意欲を向上させる取組を行った。 ●「入門講座」履修者を対象に、解説実習を実施し、新たに1人を市民解説員として合格判定した。
	課題
	市民解説員の高齢化に伴い、新たな市民解説員を育成するため、市民カレッジ「入門講座」の受講生の増員のPRをしていく必要がある。
	○ 活動の機会と場の提供
	生涯学習推進課
	取組
	●市民解説員活動として、市民解説員が案内する市内探訪、市民解説員発表会、二宮考古館や旧市倉家住宅での定期解説、市民解説員による「あきる野歴史クイズ」の発刊など、65人の市民解説員が解説活動を行う機会を提供した。
	課題
	市民解説員の高齢化に伴い、自身の健康状態と向き合い、活動できる場の提供が必要である。
	○ 活動の支援
	生涯学習推進課
	取組
	●市民解説員が解説活動を円滑に行うために必要な助言等の支援を行った。
	課題
	必要に応じて、解説活動への継続した支援を行う必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI 学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	1 市民が社会参加活動を行う機会の充実
施策の説明	生涯学習は、個人の学習の営みを基本としながら、その学習成果をグループや地域社会に広げることで、社会全体の向上につなげることが重要です。 そのような「知の循環型社会」の実現を目指して、学習者が生涯学習活動によって学んだ内容を地域の活動等に還元する活動を支援します。また、市民同士の積極的な相互協力や市民文化の向上につながるよう、市民の自主的な活動や社会参加活動を支援します。
事業名	73 人材バンク事業の充実
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	学校支援地域本部事業による学校支援ボランティアの把握を進めるとともに、青少年の体験活動等における情報提供、支援者の紹介等を充実するため、登録者の募集、支援活動の場の確保等、地域貢献につながる事業の充実を図ります。
内容	○ 人材バンク事業の周知 ○ 人材バンク登録者の充実 ○ 学校支援ボランティアの把握
令和7年度における取組状況及び課題	○ 人材バンク事業の周知 生涯学習推進課
	取組 ●広報あきる野への定期的な記事掲載、市公式ホームページの特設ページの更新、また、市の公共施設等へ当該事業の冊子を配布し、広く市民への周知を図った。
	課題 登録によるメリットや活動実績、および具体的な事業の利用方法について、市民や関係団体へ効果的に届けるための周知手段の検討が課題である。
	○ 人材バンク登録者の充実 生涯学習推進課
	取組 ●人材バンク登録者は、59件（個人52件、団体7件）の登録者となった。
	課題 登録者の分野が固定化されており、多様化する現代の地域課題や市民ニーズに合致した人材の確保が課題である。
	○ 学校支援ボランティアの把握 生涯学習推進課
	取組 ●小学校区ごとの学校支援地域本部から提出される事業報告書等を通じて、学校支援ボランティアの把握を行った。
	課題 学校支援ボランティアの実態把握や、確保する仕組みを見直すことが課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI 学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	1 市民が社会参加活動を行う機会の充実
施策の説明	生涯学習は、個人の学習の営みを基本としながら、その学習成果をグループや地域社会に広げること、社会全体の向上につなげることが重要です。 そのような「知の循環型社会」の実現を目指して、学習者が生涯学習活動によって学んだ内容を地域の活動等に還元する活動を支援します。また、市民同士の積極的な相互協力や市民文化の向上につながるよう、市民の自主的な活動や社会参加活動を支援します。
事業名	74 市民解説員事業の充実
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	あきる野の歴史・文化に関する学習成果を生かした市民解説員の地域活動の場を確保し、学習成果をまちづくりに生かす活動の充実を図ります。
内容	○ 市民カレッジの充実 ○ 市民解説員の活動の場の拡大
令和7年度における取組状況及び課題	○ 市民カレッジの充実
	生涯学習推進課
	取組
	●市民解説員養成講座として、市民カレッジ「入門講座」(自然史Ⅰ、人物伝Ⅰ、考古学Ⅰ、地域めぐりⅠ、中世史、伝統産業)の6科目を開設し、各科目4回から5回の講座で計25回を実施した。延べ52人がそれぞれの科目を受講した。 ●各科目ごとに、「市民カレッジ入門講座講座だより」を発行し、学習内容の共有化と市民解説員や受講生同士の交流を図るなど、学習意欲を向上させる取組を行った。
	課題
	講師や市民解説員の高齢化に伴い、新たな講師の情報収集と市民カレッジ入門講座受講生を増員するため、講座の周知をしていく必要がある。
	○ 市民解説員の活動の場の拡大
	生涯学習推進課
	取組
	●市民解説員が案内する市内探訪、発表会、二宮考古館や旧市倉家住宅での定期解説等での解説活動を通して、65人の市民解説員が習得した知識や技術を多くの方に伝える活動を行った。 ●これまで培ってきた知識等を生かした市民解説員による「あきる野歴史クイズ」を発行した。 (15分野延べ1,337冊)
	課題
	市民解説員の高齢化に伴い、従来の活動の場だけではなく、市民解説員が市民との多様な関わり方ができる場を拡大する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI 学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	1 市民が社会参加活動を行う機会の充実
施策の説明	生涯学習は、個人の学習の営みを基本としながら、その学習成果をグループや地域社会に広げること、社会全体の向上につなげることが重要です。 そのような「知の循環型社会」の実現を目指して、学習者が生涯学習活動によって学んだ内容を地域の活動等に還元する活動を支援します。また、市民同士の積極的な相互協力や市民文化の向上につながるよう、市民の自主的な活動や社会参加活動を支援します。
事業名	75 市民団体等との協働による事業の実施
重点事業	○
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	市民の生涯学習活動を推進するため、社会教育関係団体、生涯学習コーディネーターの会などの市民団体等との協働により、事業を実施します。
内容	○ 社会教育関係団体等との協働による事業の実施 ○ 市民団体が主体で行う活動に対する共催、後援の実施 ○ 女と男のライフフォーラム実行委員会との協働によるフォーラムの実施
令和7年度における取組状況及び課題	○ 社会教育関係団体等との協働による事業の実施
	生涯学習推進課
	取組
	●市教育委員会、秋川キララホールの指定管理者及び特定非営利活動法人子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩との協働により、あきる野市「家庭の日」推進事業親子鑑賞会を実施した。 ●秋川キララホールの指定管理者及びNPO法人・市民プロジェクト21との協働により、市内音楽家によるクラシックコンサートを実施した。 ●生涯学習コーディネーターの会との協働により、生涯学習コーディネーター養成講座、市民ふれあい塾及び生涯学習シンポジウムを実施した。 ●市民団体10団体個人3人と協働で、市民企画講座14事業(全18回)を実施し参加者は延べ611人であった。また、2事業において、展示を同時開催し、参加者は延べ510人であった。
	課題
	団体の固定化を解消し、現代の地域課題に共に取り組める多様な主体が参画しやすい協働体制の再構築が課題である。
	○ 市民団体が主体で行う活動に対する共催、後援の実施
	生涯学習推進課
	取組
	●生涯学習活動を行う市民団体等が申請した市教育委員会後援名義について、44件承認した。
	課題
	市民団体が主体となって活動し、市の生涯学習推進に寄与する事業について、引き続き、市教育委員会後援名義の使用を承認する必要がある。
	○ 女と男のライフフォーラム実行委員会との協働によるフォーラムの実施
	生涯学習推進課
	取組
	●男女共同参画啓発事業「第26回女と男のライフフォーラムinあきる野」を開催し、企画運営に携わった実行委員の意識の醸成を図るとともに、フォーラム参加者への意識啓発を行った。
	課題
	引き続き事業を推進し、市民への周知・啓発をするとともに新たな実行委員の確保が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI	学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	1	市民が社会参加活動を行う機会の充実
施策の説明		生涯学習は、個人の学習の営みを基本としながら、その学習成果をグループや地域社会に広げること、社会全体の向上につなげることが重要です。 そのような「知の循環型社会」の実現を目指して、学習者が生涯学習活動によって学んだ内容を地域の活動等に還元する活動を支援します。また、市民同士の積極的な相互協力や市民文化の向上につながるよう、市民の自主的な活動や社会参加活動を支援します。
事業名	76	市民講座の充実
重点事業		
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的		市民解説員・人材バンク登録者をはじめ、市民が主体となって行う生涯学習事業の仕組みづくりについて検討するとともに、市民が企画したり、講師となって講座等を開催する「市民講座」を充実させます。
内容		○ 市民企画講座、生涯学習コーディネーター企画・運営講座の充実
令和7年度における取組状況及び課題	○	市民企画講座、生涯学習コーディネーター企画・運営講座の充実
		生涯学習推進課
	取組	●市民企画講座では、10団体3個人の学習グループ等からの提案で14事業を実施し、参加者は延べ610人であった。また、2事業において、展示を同時開催し、参加者は延べ510人であった。市民が企画・運営し、公民館と協働で多様な学習機会を市民に提供することができた。 ●生涯学習コーディネーターの会が企画・運営する、市民ふれあい塾を6回実施し、延べ219人の参加があった。
	課題	提案主体の固定化解消に向け、多様な分野からの申請を促す周知が必要である。また、運営を担う生涯学習コーディネーターの高齢化が進む中、新たな人材の養成・確保と持続可能な組織体制の再構築が課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI	学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	2	市民学習グループの支援、交流、成果発表の場の充実
施策の説明		グループでの生涯学習は、知識の研鑽や学習意欲の向上に非常に効果的です。 市民学習グループを支援し、市民自らが様々な社会課題の課題解決のための学習・事業を実施する機会を提供します。また、学習グループ同士がつながることのできる機会や市民文化祭などの市民学習グループが学習成果を発表できる場を提供することで、「知の循環型社会」づくりを推進します。
事業名	77	利用者懇談会・利用者交流会の開催
重点事業		
新規事業		
担当課		生涯学習推進課・スポーツ推進課
目的		公民館、体育館等利用団体の交流と、利用者及び事業参加者からの提案ができる場として開催します。
内容		○ 懇談会・交流会の開催
令和7年度における取組状況及び課題	○	懇談会・交流会の開催
		生涯学習推進課
	取組	●公民館を定期的に利用する中央公民館定期利用団体の連絡調整・支援等を行った。 ●定期利用団体の交流会を実施し、各団体の抱えている課題などについて把握したほか、団体との情報の共有を図った。
	課題	コロナ禍後、団体会員の高齢化により、会員が減少している団体が増えている。定期的に公民館を利用する団体への相談等の継続した支援が必要である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI 学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	2 市民学習グループの支援、交流、成果発表の場の充実
施策の説明	グループでの生涯学習は、知識の研鑽や学習意欲の向上に非常に効果的です。 市民学習グループを支援し、市民自らが様々な社会課題の課題解決のための学習・事業を実施する機会を提供します。また、学習グループ同士がつながることのできる機会や市民文化祭などの市民学習グループが学習成果を発表できる場を提供することで、「知の循環型社会」づくりを推進します。
事業名	78 生涯学習団体のネットワークの構築
重点事業	○
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	市内で活動する様々な学習団体が連携協力し、生涯学習活動を推進するため、情報交換や連絡調整の場を整備するなど、ネットワークを構築します。
内容	○ 市民文化祭の開催 ○ 公民館定期利用団体交流会の開催 ○ 生涯学習シンポジウムの開催
令和7年度における取組状況及び課題	○ 市民文化祭の開催
	生涯学習推進課
	取組 ●参加団体による市民文化祭運営委員会を設置し、市民文化祭を開催した。社会教育関係団体等が日頃の活動成果を発表し、市民文化の交流と振興を図ることを目的として実施した。
	課題 各団体とも高齢化等による会員の減少や団体の解散等がコロナ禍を契機に進行する中、市民文化祭に参加する団体が増えるよう、日頃からの団体の支援・育成を通して、市民団体の文化活動の活性化を支援する必要がある。
	○ 公民館定期利用団体交流会の開催
	生涯学習推進課
	取組 ●公民館を定期的に利用する中央公民館定期利用団体の連絡調整・支援等を行った。 ●定期利用団体の交流会を実施し、各団体の抱えている課題などについて把握し、団体との情報の共有を図った。
	課題 コロナ禍後、団体会員の高齢化により、会員が減少している団体が増えている。定期的に公民館を利用する団体への相談等の継続した支援が必要である。
	○ 生涯学習シンポジウムの開催
	生涯学習推進課
	取組 ●生涯学習コーディネーターの会への業務委託により、「第17回あきる野市生涯学習シンポジウム」を開催し、基調講演とパネルディスカッションを行い、延べ80人の参加があった。
	課題 市民ニーズを把握し、次世代を担う若者や現役世代への認知度向上および参加促進が課題である。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI	学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	2	市民学習グループの支援、交流、成果発表の場の充実
施策の説明		グループでの生涯学習は、知識の研鑽や学習意欲の向上に非常に効果的です。 市民学習グループを支援し、市民自らが様々な社会課題の課題解決のための学習・事業を実施する機会を提供します。また、学習グループ同士がつながることのできる機会や市民文化祭などの市民学習グループが学習成果を発表できる場を提供することで、「知の循環型社会」づくりを推進します。
事業名	79	各種学習発表会の充実
重点事業		○
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的		市民の学習成果の発表の機会を充実させます。
内容		○ 市民文化祭や産業祭等を活用した学習成果を発表する機会の拡充
令和7年度における取組状況及び課題	○	市民文化祭や産業祭等を活用した学習成果を発表する機会の拡充
		生涯学習推進課
	取組	●社会教育関係団体等が日頃の活動成果を発表し、市民文化の交流と振興を図ることを目的として実施した。
	課題	各団体とも高齢化等による会員の減少や団体の解散等がコロナ禍を契機に進行する中、市民文化祭に参加する団体が増えるよう、日頃からの団体の支援・育成を通して、市民団体の文化活動の活性化を支援する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI 学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	2 市民学習グループの支援、交流、成果発表の場の充実
施策の説明	グループでの生涯学習は、知識の研鑽や学習意欲の向上に非常に効果的です。市民学習グループを支援し、市民自らが様々な社会課題の課題解決のための学習・事業を実施する機会を提供します。また、学習グループ同士がつながることのできる機会や市民文化祭などの市民学習グループが学習成果を発表できる場を提供することで、「知の循環型社会」づくりを推進します。
事業名	80 展示施設の積極的活用の推進
重点事業	
新規事業	
担当課	生涯学習推進課
目的	ルピア展示室、公民館市民ギャラリー、五日市地域交流センター等展示施設を活用し、活動成果の発表を推進します。
内容	○ 展示施設の活用促進 ○ 芸術文化活動団体の支援
令和7年度における取組状況及び課題	○ 展示施設の活用促進
	生涯学習推進課
	取組 ●あきる野ルピア4階のルピア展示室において、236件、7,569人の利用があった。 ●市内の社会教育活動を行っている団体等の学習成果を発表できる場として、公民館市民ギャラリーの貸出しを行い、121件、3,894人の利用があった。
	課題 引き続き、生涯学習の成果発表の場としての展示場所の提供や、団体の成果発表を促進する必要がある。
	○ 芸術文化活動団体の支援
	生涯学習推進課
	取組 ●芸術文化活動団体からの学習相談に応じて市内展示施設の案内を行うとともに、公民館市民ギャラリーでの展示団体の広報掲載をするなどの支援を行った。 ●市内で活動する絵画愛好団体で組織する実行委員会との協働で、令和元年度以降7年ぶりに第8回あきる野市絵画展を実施した。また、全作品を掲載した入賞・入選作品展目録を作成した。
	課題 市内の展示施設を活用し、団体の活動成果の発表をする場を継続して提供する必要がある。また、市民文化祭を通じ、引き続き、市民団体の文化活動が活性化するように支援する必要がある。

学びプラン4 第4章「具体的な施策」に対する所管課進捗状況調査シート

基本方針	VI	学びを創る ～社会参加活動の充実～
施策	2	市民学習グループの支援、交流、成果発表の場の充実
施策の説明		グループでの生涯学習は、知識の研鑽や学習意欲の向上に非常に効果的です。 市民学習グループを支援し、市民自らが様々な社会課題の課題解決のための学習・事業を実施する機会を提供します。また、学習グループ同士がつながることのできる機会や市民文化祭などの市民学習グループが学習成果を発表できる場を提供することで、「知の循環型社会」づくりを推進します。
事業名	81	市民活動推進のための学習機会の充実
重点事業		
新規事業		
担当課		生涯学習推進課
目的		市民活動を推進するため、NPO等非営利団体の設立・運営等に関する学習の場を充実させます。
内容		○ 非営利団体の設立・運営等に関する講座等の実施についての研究
令和7年度における取組状況及び課題	○	非営利団体の設立・運営等に関する講座等の実施についての研究
		生涯学習推進課
	取組	●非営利団体の設立・運営等に関する問合せ等は無かったため、講座等の実施について研究は進んでいない。
	課題	団体の設立及び運営に関して、引き続き、市民ニーズの把握を進めるとともに、講座実施の研究と個別の相談対応を行う必要がある。